

CSR 報告書2023

あたたかく やさしく 人にも 地球にも



Trust by belief and consent

Top Message

Caring for the environment

Outline

History

Report 2023

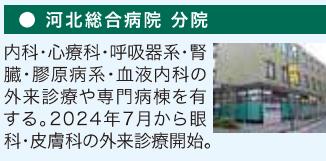
Statistics

社会医療法人 河北医療財団
Kawakita Medical Foundation

Kawakita Health Support Network



● 河北総合病院
1928年病床数30床でスタートし、現在331床の総合病院として地域の診療所や介護施設との連携を確立。救急拠点病院、地域医療支援病院として高度な急性期医療を提供。臨床研修病院として人財教育にも力を注ぐ。※ 2025年6月移転予定



● 河北サテライト クリニック
内科・心療科・呼吸器系・腎臓・膠原病系・血液内科の外来診療や専門病棟を有する。2024年7月から眼科・皮膚科の外来診療開始。



● 河北健診クリニック
健診・人間ドックの専門機関。スムーズで快適な健診と充実したアフターフォロー。女性に優しいクリニック。



● 事業所内保育事業
かわきたおひさま保育所



● あい介護老人保健施設
入所・ショートステイ・デイケアを有し、在宅復帰のためのリハビリテーションを提供。



河北医療財団の「CSR」とは

CSR(Corporate Social Responsibility)とは、

倫理的観点から事業活動を通じて、

人権やコンプライアンスの遵守、環境問題への配慮、地域社会との共存・貢献といった企業が果たすべき社会的責任を指します。

河北医療財団は、

財団理念である「社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦」に基づき、医療という本業により、地域社会の健康向上に貢献します。

理念と目的

理 念 社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦

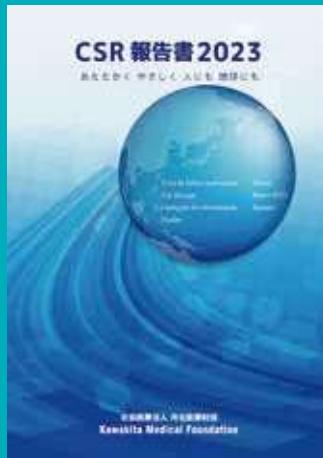
目 的 質の高い恕(おもいやり)のある医療を行うとともに地域の健康向上に寄与する

標 語	WHAT思考:社会病理	実態と表現
	Balance:基軸	人が育ち、自らが考え、皆で実現する
	究めていよいよ遠く	気配 六感を研ぎ澄ます
	あたたかく やさしく 人にも 地球にも	磨けば輝く 打てば響く 雰囲気が薫る
	安心と納得が創る信頼	味わいのある情 心が温かい 知恵・見識・自然
	受容 傾聴 共感	待たされ感の解消
	学び(心で感じ) 考え 行う	人間の復権
	NKFarm	Management:継続して社会価値を創造し続けること
	もったいない、我慢する、面倒くさがらない	より良き社会をつくる(Peter Ferdinand Drucker)
	小学5年生	trained common sense
	医療は氷山	人間の尊厳:その人らしいこと
	病院ってかっこいい	德育・体育・知育
	確立された医療を確実に行う	事前調整から結果責任へ
	情緒的で色っぽい医療を	

- 方 針
- ‘地域の人の期待’に応える医療の確立(権利と責任)
●疾病治療と健康生活支援
 - 教育(伸びる芽が伸びる)
 - 職員の働き甲斐の向上をはかる(ライフサイエンス)
 - 健全経営
 - 地球環境保全
を通じてのGovernance(診療・看護・技術・運営・教育・IT・環境)



CSR REPORT 2023



河北医療財団は、2012年より ANNUAL REPORTを発行してまいりました。当財団の取り組みや姿勢をより詳細にお伝えすべく、2017年度よりCSR(Corporate Social Responsibility)報告書として、リニューアルいたしました。河北医療財団が考えるCSRとは、医療という本業により、地域社会の健康向上に貢献していくことです。

医療・福祉・介護を担い、お一人おひとりの尊厳を大切にし、生活に寄り添うことは当然の使命と考えております。100周年に向かって「恕(おもいやり)」の様々な活動や取り組みをご報告いたします。

■ 報告期間
2023年度（2023年4月～2024年3月）
の活動や統計データを記載しております。

■ バックナンバー
「CSR報告書」ならびに
「ANNUAL REPORT」は、当財団の
WEBサイト上で公開しております。
▷「河北医療財団について」
<https://kawakita.or.jp/>

■ 発行
社会医療法人 河北医療財団
■ 発行日／2024年6月30日
■ お問い合わせ
社会医療法人 河北医療財団 広報課
〒166-8588
東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
☎03-3339-5724
e-mail: press@kawakita.or.jp

CONTENTS

◆安心と納得が創る信頼	P05
◆沿革	P06
◆TOP MESSAGE	P07
社会医療法人 河北医療財団 理事長 河北 博文	
◆Report 2023-2024	P09
Topics	P15
地域の皆さまとともに	P17
地域医療連携	P18
職員の教育・研修	P19
◆環境へのおもいやり	P21
◆統計	
杉並事業部	P23
多摩事業部	P37
◆財団概要	P40
◆各施設概要	P41
◆施設・事業所案内地図／連絡先一覧	P43
◆学会・論文発表	P45
◆年間イベントカレンダー	P47

安心と納得が創る信頼

患者さんの権利と責任 —— 私たちの財団の姿勢 ——

公正な医療をめざすための大切な行動指針とし、患者さんと医療従事者(医療者)がともに主体性に根ざした協働の関係がなければならないと考えております。患者さんは、医療に参加し、医療者と協力する責任があります。私たちの財団では、常設の倫理委員会において、引き続き、医療の基本姿勢に関して論議してまいります。患者さんの権利と責任は、よりよい医療をおこなう上で大変重要です。そのためにも、患者さんに、これらのことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

私たち医療者は、以下のことを努力します

- ・医療者としての良心と使命に基づいて、患者さんと強い信頼関係を築くこと
- ・医師による説明と患者さんの納得に基づく医療を提供すること
- ・患者さんの人生が最期まで豊かであるように、その意思を尊重すること
- ・よりよい医療をおこなうように研鑽、研修に励むこと

個人情報保護方針

よりよい医療を提供するため、以下の取り扱い方針を宣言いたします。

- ・患者さん・利用者さん個人が自らの権利と責任において、最適な診療を得られるよう本人の意思を尊重する
- ・個人情報の「収集」「利用」「提供」において、公正な規定に従い適切な運用をおこなう
- ・財団の保有する個人情報への不正アクセスや、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えいの予防措置を講じる
- ・個人情報に関する法令、内部規定の遵守に努める
- ・財団で策定する「個人情報保護マネジメントシステム」を隨時見直し、継続的改善を図る
- ・個人情報保護措置の運用について定期的な内部監査を実施する

カルテ開示について

私たちは「医療における信頼の創造」をテーマに掲げて、従来の医療提供のあり方、患者さんとの関係のあり方を機会あるごとに見直してまいりました。

その一つに診療情報は患者さんご本人に提供することを目標に掲げております。

■カルテ開示の流れ



各詳細については、ホームページをご確認ください。

個人情報保護方針 https://kawakita.or.jp/kmf/content_effort/trust/

患者さんの権利と責任・カルテ開示について <https://kawakita.or.jp/suginami-area/kgh/outline/>

【お問い合わせ・ご相談】

河北医療財団 CS推進課 (03-3339-2121 内線:202001)

沿革

1928-48	河北真太郎が河北病院(内科、小児科／病床数30床)を開設、インターン教育研修開始
1950	医療法人財団 河北病院改組(職員数106名、病床数161床) 河北真太郎が理事長に就任
1952	河北恵文が第2代理事長に就任 河北真太郎逝去(1953)
1957	総合病院認可取得(職員数167名、病床数263床)、61年病床数275床
1959	人間ドック開始
1965	特定医療法人 河北総合病院(職員数262名、病床数310床)、
1971	70年383床(内結核病棟28床)、人工透析室運営開始、付属高等看護学院開設(22名)
1973	河北恵文逝去 南部鎮雄が第3代理事長に就任
1974	377床(内結核病棟28床)、75年結核病棟閉鎖のため病床数357床、76年352床
1981	往診をシステム化した在宅患者サービス(T.H.H.S)を開始
1982	広報誌「かわびたる」創刊
1983	南部鎮雄逝去 平福一郎が第4代理事長に就任、医事業務をコンピュータ化
1986	杉並地域医療システムズ(SRHS)スタート
1988	河北博文が第5代理事長に就任、臨床研修病院の指定を受ける
1994	河北杉並訪問看護ステーション開設、在宅介護支援センター「ケア24阿佐谷」開所
1998	環境マネジメントシステムISO14001認証→KES(環境マネジメントシステム・スタンダード)step2へ継続 (財)日本医療機能評価機構認定取得(河北総合病院)
2000	長野県蓼科に職員研修施設「N.K.Farm」開設
2001	河北リハビリテーション病院開設
2003	プライバシーマーク認証取得(2015年5月更新終了)
2004	介護老人保健施設シーダ・ウォーク開設
2005	医療法人初の社債発行、救急医療センター(ER)稼動
2006	地域医療支援病院承認(河北総合病院)、東京・杉並家庭医療学センター開設
2007	日本がん治療認定機構認定研修施設認定、東京都看護職員地域就業支援病院指定
2008	心臓・血管センター、脳卒中センター開設(河北総合病院)
2009	東京都脳卒中急性期医療機関認定、こども医療センター開設(河北総合病院)
2010	社会医療法人 河北医療財団に改組
2011	「心のケアセンター」始動、河北プラチナカード(産科)発行
2012	日本政策投資銀行「DBJビジョナリーホスピタル」認定
2013	河北救急車稼働開始、The Rehabilitation Hospital or the Pacific(ホノルル)と提携(河北リハビリテーション病院)
2014	東京・杉並家庭医療学センターから河北家庭医療学センターへ改称、まちづくり団体「ア佐ヶ谷駅北東地区を考える会」設立
2016	環境MGMT委員会「環境人づくり企業大賞2015」環境大臣賞受賞、医療法人財団 天翁会と統合合併
2017	看護師に係る特定行為研修開始(河北総合病院)、総務省「クラウド型EHR高度化事業」に参画
2018	河北新透析クリニック開設
2019	河北ファミリークリニック南阿佐谷開設
2020	新型コロナウイルス感染症患者受入対応(河北総合病院・分院)、杉並区長へ連絡し区立病院として支援するよう要請
2021	新型コロナウイルス感染症対応(河北総合病院・分院)
2022	新型コロナウイルス感染症対応(河北総合病院・分院)、セントラルキッチン開設(杉並事業部)、標榜科目38科へ変更(河北総合病院)
2023	新型コロナウイルス感染症対応(河北総合病院・分院)、河北総合病院移転建設工事および駐車場建設工事着工



第1代理事長 河北真太郎



1929年 河北病院外観



第2代理事長 河北恵文



1957年 河北病院外観



第3代理事長 南部鎮雄



第4代理事長 平福一郎



第5代理事長 河北博文

TOP MESSAGE

新総合病院開設まであと約1年 あらたな変革へのチャレンジ

—永続的な地域医療の 維持・向上に向けて—

社会医療法人 河北医療財団 理事長

かわきた ひろぶみ
河北 博文



§ 「ESG」は財団理念そのもの

「ESG」は、環境意識(Environment)、社会性(Social)、ガバナンス責任(Governance)の頭文字を取ったもので、これらに配慮した取り組みをおこなうことは、長期的な成長を支える経営基盤の強化につながると考えられています。

河北医療財団では、1986年以来「社会文化を背景とした地球環境と調和したより良い医療への挑戦」を財団理念として掲げ運営しています。まさに「ESG」の要素である、環境意識、社会性、ガバナンス責任を財団理念そのものとして運営してきました。

他方、昨今は地球沸騰ともいえるような地球温暖化や貧困問題、我が国の人口減少・少子高齢化といった社会課題に加え、ロシアによるウクライナ侵略の長期化、イスラエル・パレスチナ紛争による中東地域の不安定化、激化する中国の海洋進出、人権問題、資源・物価高騰、サイバー攻撃の高まり、テロ、そして直近では令和6年能登半島地震に代表される自然災害など、新たなリスクや課題が顕在化・拡大し、民主主義社会の在り方までもが問われています。また、人工知能(AI)を含めたデジタル社会は、等身大の人間社会を大きく変えようとしています。“情報は知ること”ですが、“情報システムは時間の概念”です。この時の

激流の中で、人間が翻弄されていくのではないかと危惧しています。

我が国においては2020年2月中旬から始まった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が、2023年5月によく感染症法上の5類感染症に移行、実質的に収束してafter(with)コロナとなった今日、河北医療財団は、2025年6月目途の新総合病院開設を直近の大きな具体的目標として、「ESG」を踏まえた新たな変革へのチャレンジを、職員全員で進めてまいります。

§ 2024年度の河北医療財団の重点課題

2024年度は、河北医療財団にとって最重要事業である「新総合病院の移転・開設」の直前の年度であり、コロナ後の環境変化を踏まえて、「足元を固め飛躍の礎とする」大切な1年です。「①生産性向上による筋肉質な体制の構築」、「②2025年6月の杉並事業部新総合病院開設に向けた周到な準備」、「③地域への継続的で健全な医療を提供するための内部統制《5つのガバナンス：診療・看護・運営・教育・IT》の維持強化と『医師の働き改革』をはじめとする『職員の働きやすい職場』の構築」の3つを重点課題としています。

「①生産性向上による筋肉質な体制の構築」について



新病院 外観イメージ

は、急性期病院における軽症患者数の減少や急性期患者数の頭打ち、在宅医療・介護における高齢者の在宅医療・介護需要の一層の増加といったコロナ後の地域の患者さん・利用者さんの動向の大きな変化を踏まえて、新たな環境に適応した筋肉質な体制を構築します。通常の風邪の患者さんや、療養型の治療を続けていくことが主である患者さんはプライマリ・ケア^(※1)の中で見守っていき、急性期病院である総合病院自体は特定の処置が必要な患者さんに特化して、治療中心の病院への転換をさらに進めてまいります。これにより、診療圏の中で対応すべき治療のすべてに対応するよう努めます。

新総合病院の建設・移転を当財団事業全体の抜本改革をおこなう中核プロジェクトと位置付けている中、「②2025年6月の杉並事業部新総合病院開設に向けた周到な準備」については、「DXを活用した、入退院業務運営、救急・外来の業務運営」「集学的がん治療（手術、化学療法、放射線治療）の周到な準備」「患者さんの移送や、医療機器の稼働立ち上げ等の円滑な移転準備」等、総力を結集して実行してまいります。また、新総合病院は免震構造とすることで災害に強い病院にするとともに、財団の理念に「…地球環境と調和した…」とあるように、環境省が推奨する「ZEB Oriented」認証^(※2)を急性期病院として

都内初、全国でも3例目として取得するなど、地球環境に最も負荷を軽減した病院創り、施設・設備・運営のすべてにわたり地球環境への配慮を具現化した「日本で最も地球にやさしい病院」をめざします。

「③地域への継続的で健全な医療を提供するための内部統制《5つのガバナンス：診療・看護・運営・教育・IT》の維持強化と『医師の働き方改革』をはじめとする『職員の働きやすい職場』の構築」については、2024年4月より、土曜日午後の外来診療の休診・日直体制移行など、新たな取り組みに挑戦しており、働きやすさと生産性の向上を追求しつつ、ひいては地域医療の維持・向上につながるよう努めてまいります。病院では、医師・看護師の他、多くの職種のスタッフが働いており、多くの専門性が重層的・集学的に発揮される態勢をめざします。

2024年度も当財団は、杉並区を中心とした東京区西部地域、南多摩地域の住民の皆さまが安心して暮らせるよう、健全で持続可能な医療を提供し、「医療・介護」の未来を創り、地域社会に貢献するよう尽力してまいります。

(※1) 患者さんを家族や生活背景まで含めて多角的に診る、かつ地域全体を診る総合生活医療。

(※2) 2025年5月竣工予定の河北総合病院移転建設工事について、一般社団法人 日本建築センターの建築物省エネルギー性能表示制度にもとづき、環境省が推奨する「ZEB Oriented」の認証を2023年1月に取得しました。

Report 2023-2024

2023 総括

杉並事業部

コロナ後の通常診療体制へ移行と早期の確立に取り組み、2025年6月の新病院開院へ向けて河北総合病院・分院、河北サテライト クリニックほか各施設との連携を深めるべく運営をおこないました。河北総合病院・分院では、患者動向や人員体制を勘案し、5月のコロナ感染症分類の変更も見据えながら段階的に一般病床を増加しましたが、想定以上に患者数が回復せず病床稼働数および外来受診数も低位にて推移しました。各施設では、河北透析クリニック、河北ファミリークリニック南阿佐谷は堅調な業績運営を継続、シーダ・ウォークも回復基調ではありましたが、人員欠員により減収減益の結果となりました。

多摩事業部

前年に引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた年となりました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、関連する算加や補助金は終了し減収影響が出ました。また、一部事業所ではクラスターが発生し、ベッドの稼働率が低迷。事業部別では、在宅医療部が過去最高収入となり、地域において在宅医療を必要としている方により多くのサービスを提供することができました。個別事業としては収支改善を目的にあい訪問看護ステーション平尾があい訪問看護ステーションのサテライトになり規模拡大を図りました。あい小規模多機能施設おきなは今後介護需要増を鑑み、10月に看護小規模多機能施設へ事業転換しました。あいフィットネスサロンさくらは近距離にあるあいクリニックのデイケアと一体運営することによる効率化を狙い、在宅医療部へ改組しました。その他、ガバナンス強化の取り組みとしては初めて業務内部監査を実施。主に介護事業所向けに実施し、行政による調査の入らない事業所に対する内部監査をおこなうことで一定の見直しの契機となりました。

2024 基本方針

河北医療財団は、2018年に創立90周年を超えて、「社会文化を背景とし地球環境と調和したよりよい医療への挑戦」を掲げその時代時代の地域社会の要請に応えるべく活動してまいりました。また2016年末、多摩地域において医療から介護までおこなう医療法人財団天翁会と統合しました。救急・急性期から在宅医療・介護・予防健診機能まで、シームレスな支援ができる体制を整備しました。

当財団は、杉並区を中心とした区西部地域、多摩市を中心とした南多摩地域の住民の方々が安心して暮らせるように、健全で持続可能な医療を提供し、「医療・介護」の未来を創り、地域社会に貢献してまいります。

2024 重点施策（両事業部共通）

当財団にとって最重要事業である「新病院への移転・開設」を直前に控えた年度であり、コロナ後の環境変化を踏まえて、「足元を固め飛躍の礎とする」大切な1年である。

(1) 生産性向上による筋肉質な体制の構築

コロナ後の地域の患者(利用者)動向の大きな変化*を認識して、新たな環境に適応した体制を構築する。

*変化とは、急性期病院：軽症患者数の減少、急性期患者数の伸び悩み。在宅医療・介護 高齢者の在宅医療・介護需要の一層の増加

(2) 2025年6月の杉並事業部新病院開設に向けた周到な準備

(3) 地域への継続的で健全な医療を提供するための内部統制〈5つのガバナンス：診療・看護・運営・教育・IT〉の維持強化と「医師の働き改革」をはじめとする「職員の働きやすい職場」の構築

(4) 年度後半において、次期中期計画(新病院立ち上げ後3ヶ年計画)の策定

1 杉並事業部

<河北総合病院・分院、河北サテライト クリニック>

(1) コロナ後の患者動向の変化を受け、生産性向上を図り、損益分岐点を下げた筋肉質の体制を構築する。

具体的には、入院・外来の地域医療の要請に応える収入増加策を講じながら

① 業務棚卸をしっかりとおこない、不要不急業務の廃止・能率の向上

② 新病院を見据えた業務フロー改革・DXツールを積極的に活用

③ 部署間・職種間の業務移動や人員の応援協力体制の実施

④ 組織体制の統合・改組(含む権限移譲)による調整業務の削減等をおこない、これに沿って実働人員面では採用人員の調整をおこなう。

(2) 新病院開院準備

開院直近1年を迎え、開院準備プロジェクトチームを中心に開院後円滑に運営ができるよう詳細の詰めをおこなう。

① DXを活用した、入退院業務運営・救急・外来の業務運営

② がん診療の地域での集患策を含めた着実な準備

③ 円滑な移転準備(患者移送、医療機器の稼働立ち上げ)

④ 効果的な広報施策、最適な業務委託施策

河北総合病院・分院、河北サテライト クリニック職員全員のプロジェクトとして総力結集して実行していく

(3) 「医師の働き方改革」「土曜日午後の日直体制移行」など新しい取り組みに挑戦して、働きやすさと生産性の向上をめざしていく。

<各施設(河北リハビリテーション病院、河北透析クリニック、河北ファミリークリニック南阿佐谷、河北健診クリニック、シーダ・ウォーク)>

(1) 新病院開院後の財団を支えるための収益基盤の強化

(2) コロナ後の患者(利用者)動向に対応した体制の構築

安定した稼働率の確保 在宅医療等成長分野への対応

(3) 赤字施設の解消

徹底した患者(利用者)施策、損益分岐点の引き下げ

2 多摩事業部

- (1) 「内部の力を高める」～人が育つ環境整備および堅実経営～
利用者ファーストのサービスを第一に、質の向上を実現し、よりよいサービスを提供する。そのために、建設的な意見交換や勉強会をおこない個人や組織の成長をめざし、何事にもチャレンジする。創意工夫をおこない、ご利用者・ご家族・地域住民の安心につなげる。
- ・医療・介護のサービスの質を向上させる取り組みおよび仕組みづくりの継続
(学会発表支援・専門性の向上の推進・業務内部監査、QC活動第2ステージ等)
 - ・あいセーフティネットの相互補完・シナジー効果の強化および相談機能の更なる深化
(利用相談窓口の発展、連携の仕組み化)
 - ・職種単位の教育体制拡充および多摩事業部教育体制の構築
(新入職者および実習生の受け入れ体制マニュアルの整備および実習生の受け入れ推進、多摩事業部教育委員会の整備)
 - ・管理職の職場マネジメント力の向上
(マネジメント、リーダーシップ、タスクチーム編成等)
 - ・アンラーニング(無駄な業務の積極的な廃止)の推進
 - ・堅実経営の推進
(天本病院・あい老健の高稼働、在宅医療の強化、地域包括ケア部の自立経営の推進、中期事業計画策定、中沢地域の外来機能再編)
 - ・事業所連携および相互理解の強化
(ジョブローテーションの促進・会議の活性化)
- (2) 「職員がワクワクする環境を創る」
仕事にやりがいや楽しさを感じられ、組織が活性化することをめざす。
職員が仕事を楽しみ、サービスを充実させ、ご利用者やご家族に安心と信頼を届ける。
- ・ポジティブな影響力の高め合い(事業部長メッセージを届ける場の増回、次世代企画プロジェクトチームの発足等)
 - ・柔軟な働き方の促進および職員が長く働ける環境の整備(柔軟な働き方プロジェクトの継続、健康経営の推進)
 - ・職員間コミュニケーションの活発化(福利厚生の充実、厚生委員会企画の充実、あいさつ運動の促進等)
- (3) 「地域とともに繁栄する組織をめざす」
我々のサービスが地域に必要とされているか、選ばれているかを常に考える。
地域の困りごとや課題の解決に向け想像力を働かせる。私たちのサービスの発展は、地域とともにあります。
- ①人が集う組織の再構築
 - ・ボランティア受け入れ体制の整備と活性化(元気高齢者の雇用促進等)
 - ・地域との交流機会を増やす
 - ②地域とともにある組織づくり(まちづくり)
 - ・認知症対策・フレイル予防の推進および地域の健幸寿命延伸に向けた取り組みの強化(体制強化・促進継続)
 - ③地域ニーズに応える
 - ・24時間365日の体制の推進
 - ・地域の困りごとや地域課題の抽出と課題解決の検討
 - ・ACP(意思決定支援)の推進
 - ・地域包括ケアシステムの新たなサービスの検討

杉並事業部事業計画

1 河北総合病院・分院、河北サテライト クリニック

- 新病院の開院を見据え、高度・急性期医療を担う地域の中核病院として安全・安心で質の高い医療の提供と経営の効率化・収支改善等に取り組み、持続可能な病院経営を図る
- (1) 高度・急性期医療等の充実 『財団中期施策』
- ①受診動向の変化や平均在院日数短縮による病床稼働率の減等の収益構造の変化が進展したため、医療供給体制を整備し、地域に求められる質の高い高度・急性期医療体制を再構築する。
 - ②急速な高齢化の進展とともに高齢者の急増に対応するため、5疾患(がん・脳卒中・急性心筋梗塞等)を中心に質の高い医療を提供し5事業(救急医療・災害時医療・小児周産期医療等)の医療提供体制の充実を図り、地域医療支援病院としての役割を果たす。
 - ③前方および後方連携双方を強力に推進し、「紹介率・逆紹介率向上」、「在院日数短縮」および「病床稼働率安定化」を図り、「地域完結型の医療」を提供する。
- (2) がん診療体制の構築 『財団中期施策』
- 「質の高いがん医療」を提供することをめざして、包括的ながん医療の提供等に努めながら、がん医療に関する相談支援および情報提供ならびに地域医療機関を支援して、東京都がん診療連携協力病院の領域別の認定を取得して地域内完結型の医療提供体制の構築を図る。
- (3) 地域に根差した安心・安全・納得の医療提供 『財団中期施策』
- ①医師や看護師、ソーシャルワーカー等の専門性を生かし、多職種協働で入退院センター(仮称)の機能を充実して患者サービスの向上を図る。
 - ②各施設との役割分担および連携の一層の深堀をして一体的・効率的な運営を推進する。
 - ③安全で安心できる質の高い医療を提供するため、医療事故などの情報収集と分析をおこない、医療事故の予防および再発防止に取り組み医療安全対策の推進と強化を図る。
 - ④画像診断報告書等の見落としを防止するため、教育の充実および見落とし防止策を整備して医療事故の予防に取り込む。
 - ⑤ソーシャルメディアなどを有効活用し、ホームページを充実して広報・情報提供の充実を図る。
 - ⑥クリニカルパスの見直しと運用の精度の向上を図る。
 - ⑦コールセンターを一元化して外来診療支援体制の充実と患者サービスの向上につなげる。

Report 2023-2024

⑧安全で適切な医療の提供を定常化し、高度の医療安全の確保を図るため医療機能評価を受審し、継続的な業務改善活動を推進するなどして質の高い医療の向上を図る。

(4) 職員のやりがいの向上、そして働く幸せを感じる職場をめざす『財団中期施策VI、VII』

①2024年度は医師の時間外労働規制の適用開始という「働き方改革」の大きな節目の年であり、職員が健康的に働き続けることができるよう、タスク・シフティング/シェアリングやICT等の利活用等を積極的に取り入れ、労働生産性の向上に取り組み働き方・仕事の進め方改革をより一層推進する。

②新人事制度を成熟させ、職員が最大限に能力を発揮できるよう、人材教育・育成の強化、また新病院を見据えた適正な人員計画をおこなう。

③患者の視点に立ったきめ細やかな医療およびサービスを提供するため接遇教育を強化する。

(5) 非常に備えた病院づくり『財団中期施策』

①新型コロナウイルス感染症を含む「新興感染症等にも対応すべく」、平時からの取り組みと感染拡大時の体制や対応マニュアルを強化し、第8次医療計画に備える。

②災害医療拠点としての責務を果たすため、災害対策についてセンター全体として共有・浸透や対応能力の向上を図るために定期的かつ現実に即した訓練等をおこなう。

③サイバー攻撃を想定した事業継続計画(BCP)の策定および訓練の実施をする。

(6) 新病院建替えに向けたDX推進『財団中期施策』

①デジタル技術を活用した業務の効率化や医療サービスの高度化、データ活用の基盤整備等の医療や業務プロセスの変革をめざす。

(7) 安定した経営基盤の確立『財団中期施策』

①適正な収益を確保するため、急性期医療、がん医療の機能を強化して、病床稼働率や入院診療単価をはじめとする各種稼働指標の底上げをする。

②多職種間の連携による診療報酬や加算の取得と施設基準を維持するため適切に管理をする。

③病院全体で未収金の発生防止と法的措置を含め積極的な早期回収の取り組みを推進する。

④医療機器の保守管理費用を継続して見直して費用の抑制をする。

⑤新病院建替えに向けて、既存施設の維持管理の徹底と設備投資の綿密な計画作成を確実に実行する。

⑥医療機器、医薬品・診療材料の購買価格のさらなる適正化に取り組む。

⑦原油・物価高騰の影響により引き続き省エネの取り組みを推進する。

⑧コンプライアンスに関する研修を定期的に実施するなど、全職員の法令および行動規範遵守に向けた取り組みを推進する。

⑨新病院の建設に向けた取り組みを、関係機関と調整を図り着実に推進する。

⑩ランサムウェアなどサイバー攻撃に対し、対策および教育研修を実施して医療情報災害に備えるためセキュリティを強化する。

⑪国の社会保障と税の一体改革が進められる中、診療報酬改定に適切な対応する。(新基準、加算取得、上位基準の取り組み)

2 河北リハビリテーション病院

医療、介護、福祉をつなぐ地域完結型リハビリテーション医療体制を確立する。

- ・近隣のリハビリニーズに応じて回復期リハビリ入院患者層を開拓し、各財団施設との連携を強化する。
- ・他回復期リハビリテーション病院とも連携の上、回復期リハビリテーション医療の質向上に貢献する。
- ・外来診療の拡充により退院後の生活や社会活動の再開支援の充実を図る。
- ・継続的な人材確保と就労定着を図るために職場環境の整備と教育体制の充実を図る。
- ・専門医、認定看護師、認定療法士等の資格取得を促進する。専門技能を持つ職員がその専門性を発揮できる体制を確立する。
- ・地域特性を把握し地域の健康増進、疾病予防に関する情報発信を継続する。

3 シーダ・ウォーク

在宅超強化型老健として在宅復帰支援、在宅療養支援を引き続き強化する。そのためにも質の高いリハビリテーションの提供を重点とし、ロングステイ終了在宅復帰後もショートステイ・通所リハビリ(ディケア)・訪問リハビリと有機的に連動して地域に根差した在宅生活を支援していく。

- ・河北総合病院新病院開院に向けて後方連携施設として患者を積極的に受け入れる。そのためにも医療・看護・介護の各方面において受け入れ体制を強化する。
- ・急性期・回復期病院との連絡を密にして患者のニーズに応える。
- ・リハビリテーションや生活環境整備を通じて在宅復帰を支援する。
- ・通所リハビリ・ショートステイ・ロングステイのシームレスな運用により在宅生活を支援し、看取りもを視野に入れた長期的介護支援をおこなう。
- ・居宅介護支援事業所や訪問診療・訪問看護機関との連絡を密にして地域の介護需要を把握し、利用者・家族のニーズに応えた活用しやすい介護施設をめざす。

以上により利用率を向上して安定した収入を確保しつつ人的リソースの適切な配置とICT・DXの導入により業務の効率化をおこない、また長期的改修・更新計画を実施する。

4 河北透析クリニック

地域の透析患者が自分らしい「幸せな生」を全うできるようにする。同時にスタッフも「幸せ」を感じられる職場をめざす。

- ・患者啓発・ケアを強化しフレイルや合併症を予防し、通院継続と入院数の減少を目指す。
- ・職員教育を強化し、自発的な行動により医療の質を向上させ、働き甲斐ある職場環境づくりをめざす。
- ・安全管理強化と業務効率化のための業務改善を継続する。
- ・杉並区の災害時透析医療ネットワーク幹事施設として、杉並区の災害医療対策に取り組む。

5 河北健診クリニック

エビデンスに基づく健診(検診)の展開。～がん・生活習慣病の早期診断、保健指導、受診勧奨の推進。

- ・すべての受診者に利得となる健診をめざす。
- ・多様な受診者に個別化した健診を提案する。
- ・専門医へ適切に紹介し経過を追跡する。
- ・健診のプロセス指標の把握と活用を図る。
- ・ワークライフバランスが取れた職場を構築する。

6 河北ファミリークリニック南阿佐谷

コロナ後の社会における(特にプライマリケア領域における)患者受療行動の変化を念頭におきつつ、利用者に対しては質の高い医療、職員に対しては質の高い教育を提供し、また河北医療財団における最重要事業である「新病院設立」に向けての経営的な基盤固めに寄与すべく、事業体としては事業拡大、業務効率化タスクシェア/タスクシフトをすすめていく。

- ・在宅部門においては、引き続き事業拡大をめざす。(河北総合病院・分院との連携をより強めつつ、効率的な診療を提供できるよう、ハード面/ソフト面ともにさらなる整備を進める)
- ・外来部門では、地域包括ケアを提供する地域のプライマリケア診療所として、行政の制度の変更(診療報酬改定・マイナンバーカードの健康保険証利用など)に適正に対応しつつ、増患/增收を図る。
- ・プライマリケア診療所として、地域健康教室・医師会活動等の地道な活動を通じ、地域の医療/介護/社会資源との連携を深めていく。
- ・各部門において学生・研修医・スタッフの教育の充実を図る。
- ・タスクシフト・タスクシェアを推進し、専門職がよりその専門性を発揮できる環境を作るとともに、より効率的な業務提供を図る。

多摩事業部事業計画

1 天本病院

(1) 内部の力を高める ～人が育つ環境整備および堅実経営～

- ・患者満足度調査等、利用する方のニーズ・周囲の声を収集し対応の検討、返答、改善活動に取り組む。なお、各活動には責任者を配置し推進する。
- ・医療機能評価審査の改善項目、医療法25条立入り検査指摘項目へ具体的取り組みをおこなう。
- ・多摩事業部QC活動への積極的な参画を啓発し、医療・介護の質向上に向けた活動、業務の見直しを継続する。
- ・ASN各事業所の声を聴き、相互補完体制を理解し、ASN内事業所からの受け入れ体制と地域医療連携室の入院調整機能の発展を推進する。
- ・相互理解を目的に職種間によるジョブローテーションを推進する。
- ・職種単位のキャリアパスの見直しおよび実習生受け入れ体制を再構築し推進する。
- ・外部研修の参加啓発および病院教育委員会の再構築をおこなう。
- ・全病床稼働率92.26%(2階:89.41%(42.0床)/3階:92.86%(44.6床)/4階:96.37%(46.3床)/5階:89.72%(32.3床))を達成する。
- ・ASNで期待される入院機能、外来機能、健診機能、介護予防機能等の向上のため、生化学検査機器の導入をめざす。
- ・医師体制、病院外来機能を再構築し、入院患者受け入れおよび退院後のフォローオン体制を推進する。
- ・入院手続きの簡略化を図る。
- ・アンラーニングを浸透させ、時間外労働の5%削減に取り組む。
- ・物品の適正管理の取り組みを継続し、過剰在庫削減をおこなう。
- ・新型コロナウイルス等感染症拡大を最小限にとどめるため、迅速な対応と職員教育をおこなう。

(2) 職員がワクワクする環境を創る

- ・QC活動を支援し業務効率化のためのIT・IOT・AI活用の提案を積極的に検討する。
- ・職員が希望する勤務体系に対応できる組織体制をめざす。
- ・高齢者、外国人、障がい者の雇用受け入れに対応できる体制を構築する。
- ・病院機器の有効活用を検討し、健康経営の浸透を図る。
- ・厚生企画、各研修への参加を推進しコミュニケーションの活発化を推進する。

(3) 地域とともに繁栄する組織をめざす

- ・ASNの病院機能として24時間365日受け入れる体制づくりの実現に向けた活動を継続する。
- ・地域の在宅診療機関からの入院依頼を断らない体制づくりを継続する。
- ・ボランティア受け入れ体制の整備および受け入れバリエーションの増加を図る。
- ・地域活動に積極的に参加し地域の困りごとや地域課題の抽出と課題解決に積極的に取り組む。
- ・認知症対策・フレイル予防の推進・地域の健幸寿命延伸に向けた取り組みを継続する。
- ・地域の関係機関との連携強化を図る。
- ・ACP(意思決定支援)の推進を継続する。

2 あい介護老人保健施設

(1) 安定運営をめざす

2024年度制度改正により「超強化型老健」として基準要件が詳細になった。これにより、より一人ひとりの方向性を見極めケアマネジメントしていく必要がある。また身体拘束・虐待防止・感染対策等の指針整備などを確実に整える必要がある。サービスの質の向上とともに、あい介護老人保健施設における「利用者の生活の再構築」を図る。目標達成に向け職員一丸となって取り組む必要がある。

(具体的な取り組み)

- 超強化型老健の維持・制度改正に対応するとともに新加算取得に向け取り組む
- 目標稼働:入所92%(138床/日)・通所リハ91%(平均45.5人/日)
 - ① 療養ユニットの再構築(150床でフル運用)
 - ② 認知症専門棟を一般棟へ変更
 - ③ 面会制限解除・施設内外の企画・行事の実現
 - ④ 情報共有・合議実行の体制整備等(各種会議・委員会活動の充実を図る)
 - ⑤ サービスの質の向上(ケアプランの充実・自己点検の継続)
 - ⑥ 各部署・各職種のアンラーニング(業務効率化・業務改善(減らす)で前例見直し(例)サービス契約や面談時間等の短縮の実現等)

(2) 人が育つ組織体制をめざす

部署・職種・同じ場所で働く者たちが互いに意識し会話できる環境を整えていく。コミュニケーション機会の減少、自分の思いや考えを語る場の減少により、

Report 2023-2024

あい老健が大切にしてきた「自分たちで考え行動し、思いを実現できる」風土を忘れかけている。各種会議や委員会等が有効に活用され、課題抽出・改善行動の機会となるよう再構築していく。老人保健施設「基本理念」の理解、利用者が地域に出かけ家族も安心して施設利用ができる状態を早期に整えていく。

(具体的な取り組み)

- ①教育・育成・循環・働く環境について、組織として取り組む(全体研修・スキルキャリアアップを見込んだ人の循環等)
- ②地域貢献活動を含めた広範な在宅支援機能を果たす(地域住民・家族が来所し、利用者とともに楽しめる機会がある、利用者とともに地域に出かけれる機会がある等)
- ③一人ひとりが考え行動し、思いを実現できる取り組みをおこなう(各種委員会を通して、実現できる過程を大切に取り組めるような支援等)

(3) 計画的に修繕および環境整備に取り組む

2023年度～2024年度にかけ、約1億円規模の「空調設備(エアコン)大規模更新工事」をおこなう。そのために助成金の活用および安定稼働による収入の確保が必要となる。施設内の環境整備に取り組み、職員の働く環境、利用者が安心して利用できるための環境整備を施設全体で計画的に進めていく。これまでも費用削減に取り組み成果を出しているが、水光熱費を始め、チーム・グループで関わり、QC活動や環境マネジメント委員会を中心に、職員一人ひとりの意識や行動に働きかけていきたい。

(具体的な取り組み)

- ①計画的な修繕および設備更新を進める(空調設備更新工事の完了)
- ②自ら考え行動する風土作り(QC活動や環境マネジメント委員会等、目標を定め職員一人ひとりが取り組む等)

3 在宅医療部

(1) 内部の力を高める

教育による人材育成を推進し、質の向上に取り組む。また、診療報酬・介護報酬の同時改定がおこなわれるため、内部体制を再構築し、安定した経営を継続していく。

(具体的な取り組み)

- ①人材育成と教育体制の拡充
(学会への積極的な参加(発表)、専門性や興味のある分野の知識向上への取り組み、実習生の受け入れ推進、各職種の教育体制構築)
- ②堅実経営の維持
(CL中沢の外来機能移転、常勤医師増員による在宅医療の強化、稼働・加算維持のための取り組み強化)
- ③アンラーニングの実施
(無駄な業務の廃止、会議、委員会等の見直しを図る)
- ④事業所間連携の強化
(事業所間でのミーティング・カンファレンス・勉強会などを実施)
- ⑤医療DX推進の体制整備
(サービスの質向上、業務効率化、在宅オンライン資格確認等)

(2) 職員がワクワクする環境を創る

職員が働きやすく、やりがいをもって働き続けられる職場環境構築の継続。

(具体的な取り組み)

- ①柔軟な働き方の促進および職員が長く働ける環境整備
(ズレ勤務の活用、欠勤時のフォローワーク体制構築、残業の削減)
- ②職員間の風通しのよいコミュニケーションの活性化
(あいさつ運動の促進、コミュニケーションの機会構築)

(3) 地域とともに繁栄する組織をめざす

地域との交流・活動をより活発におこない、ニーズを把握し、地域との連携強化を図る。

(具体的な取り組み)

- ①地域との交流の場を増やす
(ボランティア受け入れの活性化、地域イベントへの参画、体力測定会やボッチャなどフレイル予防実施、地域向け講座の実施)
- ②地域ニーズに応える
(他事業所との連携強化、ACPの推進)

4 地域包括ケア部

(1) 自立運営をめざす

各事業所、各サービスの機能と名称が、多摩市、関係機関、対象となる利用者に浸透するように取り組んでいく。また、法令遵守の体制を強めるために、2024年度介護保険制度改革、介護報酬改定に対応し、2023年度実施した内部監査の結果に応じた改善、加えて未実施の事業所は内部監査を受審し整備を進めていく。

(具体的な取り組み)

- ①地域包括ケア部として「相談機能体制」整備する
- ②アンラーニングの実施
(業務削減・業務の可視化・情報共有等)
- ③各事業所が人件費割合70%台を達成する
- ④組織力を強める(育成・ジョブローテーション・コミュニケーションの機会支援)

(2) コミュニケーションの活性化と健康経営をめざす

職員がお互いを認め合い、個々に意見を持ち良好なコミュニケーションがとれる。私たちが働きやすい職場を構築する。そのためには、職場環境整備、職員同士が積極的な挨拶を交わし事業所および職員一人ひとりが主体的に取り組み業務をおこなうこと。また職員のキャリア形成や資格取得、学びを応援する風土であること。そして役職者が率先して働き方を改革していく必要がある。

(具体的な取り組み)

- ①会議やコミュニケーションの場の機会を支援する（検討・決定等参画する風土づくり）
- ②健康経営の推進（役職者の残業時間減少、そのために何をするのか）
- ③研修・資格取得支援（介護福祉士・介護支援専門員等）

(3) 選ばれるサービスであるために、地域とともに取り組みをおこなう

地域に選ばれ求められるサービスであるため職員一人ひとりが現状を理解し、知識を深め取り組めるよう支援していく。地域密着型事業として地域の方との関りを持つこと、地域推進委員会等で地域の困りごとを知り地域課題の共有と検討をおこなう。また、あらためて法人内事業所間連携、認知症ケアの理解、ACPやフレイル対策等を理解し深め、地域に発信できるようにしていく必要がある。

(具体的な取り組み)

- ①ボランティアの受け入れ推進（多様な場面での受け入れの検討）
- ②認知症ケアの理解（研修内容の充実）、ACP・フレイル対策の具体的取り組み実施
- ③運営推進会議の内容充実と活性化（参加者が増える）

5 多摩本部

急速に進む社会環境の変化に適合できるよう組織力を高めていく必要がある。そのために中核となる人的資本経営、アンラーニング等を実施しながら生産性を高める施策を展開していく。また、中期事業計画の策定年でもあるため、中期計画策定メンバーおよびビジョンプロジェクトを発足し、様々な意見を収集しながら計画立案をおこなっていく。その他、引き続きガバナンス強化として安全感染管理体制および業務内部監査を継続して実施していく。

(1) 多摩事業部の生産性向上に向けた取り組みの推進

- ①業務改善活動（QC活動第2ステージ展開等）の推進
- ②学会発表奨励等職員のスキルアップ支援
- ③業務標準化の推進および仕組みづくり
- ④医師の働き方改革対策に向けた勤怠管理システム等の運用

(2) 組織力向上に向けた人事施策の展開

- ①人的資本経営の推進
- ②多摩事業部教育委員会の設置等教育体制の整備およびオンボーディング強化
- ③管理監督職向け研修の拡充および接遇強化
- ④採用サイトリニューアルおよび採用管理システム導入をもとにした業務シフト

(3) 組織活性化に向けた施策の立案

- ①ポジティブな影響力を高め合うためのタスクフォース、多職種協働企画チーム等の設置企画
- ②健康経営の導入検討、推進

(4) 堅実経営に向けた経営企画

- ①長期計画を実現するための中期事業計画の策定（ビジョンプロジェクトを発足し意見を取り入れながら策定する）
- ②組織体制再設計の検討

(5) 徹底した業務効率化の実現

- ①アンラーニングの推進（学習棄却、会議時間のスリム化（45分ルール）、システム化検討等）

(6) 医療・介護の質向上に向けた施策支援

- ①安全感染管理の強化、業務内部監査の計画的実施
- ②医療・介護の質向上に向けた施策支援（セーフマスターの活用促進、推進委員教育の継続、ラウンドの継続等）

(7) 広報戦略の立案

- ①心に響く広報を基にしたパーカス経営の発信（「見て感じる」新規イベントの実行、ASNキャッチコピーの作成）
- ②マーケティング視点の強化（カスタマージャーニーマップの作成による顧客ニーズの把握、ASN連携の見える化）

(8) 認知症対策、フレイル予防の推進等地域の健幸寿命延伸に向けた取り組み強化

- ①ASNリハセンターを中心としたフレイル予防および地域活動の推進

- 河北総合病院移転建設工事「ZEB Oriented」取得(杉並事業部)
- AI警備システム「アジラ」の実証実験/河北総合病院・分院(杉並事業部)
- 新型コロナウイルス感染症対策(宿泊療養)に対して東京都より感謝状受領(杉並事業部)
- 「病院キッズ体験イベント」開催(杉並事業部)
- 2ヶ所目の看護小規模多機能型居宅介護が誕生(多摩事業部)
- 第23回市民公開講座「人生100年時代のウェルビーイング」(多摩事業部)
- 第15回around杉並健康ライフ2023(杉並事業部)
- 災害医療活動「令和6年能登半島地震」(杉並事業部)

地域の皆さんとともに

地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して生活ができるように、医療などを通じて皆さまの健康を守り、当財団スタッフと地域の皆さまが手と手を取り合って、よりよい地域社会を築いていくことをめざしております。

P.17

地域医療連携

急性期病院である河北総合病院は、地域のかかりつけ医(診療所・病院など)と連携し、よりよい地域医療を提供する「地域医療支援病院」として、2006年に東京都知事より承認を受けております。

P.18

職員の教育・研修

財団では、「教育」すること、「人財開発」することの眞の目的を明確にする作業から始め、一つの教育理念に辿り着きました。組織としての「教育」は、「自立した自己として職員が成長することを支援すること」であり、教育を通して一人ひとりの職員が「自分は素晴らしい仕事に従事している」という満足感、充足感を実感することが重要であると考えます。

P.19

知識、技術、態度はもとより職員一人ひとりが充実していることが、結果的に患者さんおよび地域の方々にとっての信頼・安心につながっていくとの信念に基づいております。

Topics

1 河北総合病院移転建設工事が「ZEB Oriented」を取得(杉並事業部)

一般社団法人 日本建築センターの建築物省エネルギー性能表示制度にもとづき、環境省が推奨する「ZEB Oriented」の認証を取得しました。急性期病院の同認証の取得は都内初であり、全国でも3例目となります。

この工事は、大規模建築であることに加え、急性疾患または重症患者の治療を24時間体制でおこなうエネルギー消費量が多い急性期病院において、カーボンニュートラル社会実現のための社会貢献として、河北総合病院と清水建設が共同で、「パッシブ建築計画による建築自体のエネルギー負荷低減、アクティブな高効率設備機器の導入徹底による負荷低減」をコンセプトに、ZEB Oriented認証取得に取り組んだものです。



河北総合病院
新病院に関する
情報はこちら



2 AI警備システム「アジラ」実証実験の実施(杉並事業部)

河北総合病院・分院において、AI警備システム『アジラ』を試験導入し、転倒・事故等の早期発見、夜間診療時間の警備の質の向上を目的とした実証実験を実施しました。

現代の医療現場は高齢化社会に伴う転倒事故の増加や緊急時の迅速な対応が不可欠であり、病院における患者さんの安全確保が今まで以上に重要な課題となっています。さらに、医療スタッフの業務負担も増加傾向にあり、夜間の見回りや緊急対応等の状況も厳しさを増しています。業務のDX推進や働き方改革の一環として、検証しました。



3 2ヶ所目の看護小規模多機能型居宅介護が誕生(多摩事業部)

2023年10月、聖蹟桜ヶ丘にある小規模多機能施設おきなが看護小規模多機能施設おきなとして新たにオープンしました。看護基準を強化することで、疾患をお持ちの方の在宅生活をより強固に支援することが可能になります。当財団としては多摩市中沢にある「ほたる」について2ヶ所目の転換となります。「通い」「訪問」「泊まり」を柔軟に組みあわせることができる当サービスは地域のニーズも高く、今後も在宅生活の延伸に寄与できるよう質の維持向上に取り組んでまいります。



4 災害医療活動「令和6年能登半島地震」(杉並事業部)

2024年1月1日に発生した、令和6年能登半島地震にて被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

1月7日、8日の2日間、全日本病院協会AMAT隊として、河北総合病院の看護師と救急救命士が、河北救急車で出場し、公立能登総合病院の活動拠点での情報収集(リエゾン)にあたりました。その後も看護師派遣として、恵寿総合病院(七尾市)への継続支援をおこないました。

※AMATとは(All Japan Hospital Medical Team)の略称で災害医療活動の研修を修了した医療救護活動チーム



地域の皆さんとともに

地域の皆さんが住み慣れた場所で安心して生活ができるように、医療などを通じて皆さまの健康を守り、当財団職員と地域の皆さんが手と手を取り合って、よりよい地域社会を築いていくことをめざしております。2023年度は動画配信に加え、リアルイベントの実施など、徐々に活動再開の年度でありました。

セミナー・講座

「河北健康教室」(杉並事業部)

WEB配信数:26回 リアル開催数:12回

1985年より患者さんや地域の方向けにセミナーをはじめ、2011年からは「河北健康教室」として実施してまいりました。



WEB配信数は、ショート動画とリアル開催録画を含む

杉並第一小学校主催「命の授業」 (杉並事業部)

開催数:4回

杉並第一小学校より学年別の合同授業保護者参観の講師として、地域の病院である「河北総合病院」へ2015年より講師依頼をいただいております。様々な形の「命」を学ぶ授業として、医師、看護師、療法士を派遣しており、年間4回開催しております。



からきだ匠カフェ(認知症カフェ) (多摩事業部)

開催数:12回(毎月第4水曜)

多摩市の唐木田駅前のカフェを会場に毎月開催している認知症カフェも6年目を迎えました。月替わりで様々なゲストを迎える、認知症への理解を深める勉強会や、介護者の方のリフレッシュを目的とした企画などをお届けしています。満員の回も多く好評をいただいているところです。



主催イベント

第15回around杉並健康ライフ2023(杉並事業部)

「生きがいを育む リハビリテーション」をテーマに、阿佐谷地域区民センターにて開催いたしました。お子さまから高齢者まで、来場者数700名を超え、地域の官公署や商店街多くの協力・協賛企業のお力添えをいただき、大盛況のうちに終えることができました。



第23回市民公開講座(多摩事業部)

「人生100年時代のウェルビーイング」をテーマに、パルテノン多摩にて講座を開催いたしました。基調講演では前野マドカ氏を迎えて幸福学について、続くパネルディスカッションでは渥美京子氏を交えて多摩地域の多世代向けコミュニティづくりについてお届けしました。



「病院キッズ体験イベント」(杉並事業部)

小学校高学年を対象にした夏休み病院職業体験イベントを4年ぶりに開催。診療放射線技師をはじめ臨床検査技師、内視鏡技師、薬剤師、医師、救急救命士の協力のもと、現物の機器に触れ、医療の仕事に興味津々の様子で、いろいろな発見を楽しんでいました。



イベント協賛

「東京高円寺阿波おどり」 (杉並事業部)

地域イベントを応援するため、うちわ協賛をおこないました。



日程:8月26日(土)・27日(日)
会場:高円寺駅、新高円寺駅周辺等

「すぎなみフェスタ2023」 (杉並事業部)

HP協賛と河北救急車の展示協力をおこないました。



日程:11月4日(土)・5日(日)
会場:桃井原っぱ公園

地域医療連携

急性期病院である河北総合病院は、地域のかかりつけ医（診療所・病院など）と連携し、よりよい地域医療を提供する「地域医療支援病院」として、2006年に東京都知事より承認を受けております。

杉並医療連携WEBセミナー 開催数:21回 視聴者数:666名

開催日	研修会名	参加者数
2023年4月	リウマチ・膠原病科 ～ILD Web Seminar～ 膠原病医の考える間質性肺疾患	9
2023年5月	循環器内科 第42回杉並心臓病カンファランス	12
2023年6月	河北ファミリークリニック南阿佐谷(在宅診療)●消化器内科 第35回すぎなみ緩和ケア研究会	71
	循環器内科 地域で考える高血圧診療 in 杉並	38
2023年8月	看護部 施設看護師・介護職対象研修会	39
	循環器内科 第43回杉並心臓病カンファランス	41
2023年9月	脳神経内科●看護部 第18回杉並区認知症ネットワーク	41
	腎臓内科 地域で考えるCKD診療	25
	腎臓内科●糖尿病内分泌代謝内科 杉並中野糖尿病フォーラム	51
	河北ファミリークリニック南阿佐谷(在宅診療)● 糖尿病内分泌代謝内科 医師・看護師・薬剤師のための在宅ケアセミナー	20

開催日	研修会名	参加者数
2023年10月	産婦人科 第10回杉並産婦人科カンファランス	24
	循環器内科 循環器代謝セミナー in 杉並	28
	整形外科 阿佐谷痛みのセミナー	25
2023年11月	腎臓内科 杉並CKD診療を学ぶ会	37
	リウマチ・膠原病科 第3回膠原病リウマチセミナー	29
2023年12月	循環器内科 第44回杉並心臓病カンファランス	33
2024年1月	脳神経外科●循環器内科 脳心血管病連携会	29
2024年2月	循環器内科 不整脈 Web Seminar	22
2024年3月	杉並区歯科医師会協力歯科講演会 全身疾患との関係と義歯の管理	39
	循環器内科 第6回杉並心臓病カンファランス アブレーション連携の会	20
	腎臓内科●循環器内科 心腎連関から診る高血圧診療 ～高齢化社会に向けた健康寿命へのアプローチ	33

河北総合病院 病診連携会

開催日	内容	会場	参加者数
2023年5月	消化器外科 地域がん治療拠点をめざした当院の取り組み 消化器内科 ● 消化器内視鏡診断・治療科の紹介 ※ハイブリッド開催	河北総合病院 西館地下講堂	46 現地参加 16 Web視聴 30
2023年10月	COVID-19対応における杉並区医師会への感謝状贈呈 各診療科紹介(救急集中治療科、消化器外科、心臓・血管疾患センター)	吉祥寺エクセルホテル東急8階	154



2023年10月 吉祥寺エクセルホテル東急8階

職員の教育・研修

財団では、「教育」すること、「人財開発」することの眞の目的を明確にする作業から始め、一つの教育理念に辿り着きました。組織としての「教育」は、「自立した自己として職員が成長することを支援すること」であり、教育を通して一人ひとりの職員が「自分は素晴らしい仕事に従事している」という満足感、充足感を実感することが重要であると考えます。

知識、技術、態度はもとより職員一人ひとりが充実していることが、結果的に患者さんおよび地域の方々にとっての信頼・安心につながっていくとの信念に基づいております。

教育理念

自立した自己として職員が成長することを支援する

教育方針

社会的資産としての人材を育成する

- 組織理念の浸透
- 専門職としての質の向上
(知識・技能・態度)
- 自ら考え行動する個人の育成

特に職員教育には力を入れており、研修を通じて組織人としての成長は当然ですが、『世に優れた医療人を送り出す』ことも当財団の大切な役割と思っております。

階層別研修では新入職員への社会人基礎から始まり、キャリアごとに必要となる知識や考え方を座学で講義するとともに、多職種コミュニケーションの機会として“あるべき姿”についてディスカッションをおこなうなど、コミュニケーション力の向上にも力を入れています。

また、組織理念の浸透を全階層に図るとともに、自身や部下の「心のケア」の大切さと知識の伝承をおこなっています。

各職種においては、「教育ラダー」に基づいた専門職に相応しいスペシャリストの育成をしています。

「主体的に考え行動する」人財育成に力点を置いたプログラムを今後も継続してまいります。

2023年度 研修・委員会実績

杉並事業部

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
新入職員研修	1	111
スタッフ研修2	3	46
スタッフ研修3	3	37
初級監督職研修	4	40
中級監督職研修	3	53
上級監督職研修	1	11
管理職研修	1	16
主任研修	1	9
新任科長研修	1	8
選抜研修II	1	8
新入職員フォローアップ研修	3	58
医療安全院内研究会(総合病院)	2	2,168
医療安全院内研究会(分院)	2	187
感染症講演会(総合病院)	2	1,767
感染症講演会(分院)	2	156
倫理委員会	7(電子会議1)	67(13)
高難度新規医療技術評価委員会	0	0
教育委員会	1	15
診療の質向上委員会	11	96
クリニカルパス委員会	10	102
医療安全管理委員会	12	231
医療安全管理委員会(分院)	12	68
プライバシー・ポリシー委員会	5	72
感染管理委員会	12	288
感染管理委員会(分院)	12	108
感染管理実行委員会	12	408
環境マネジメントシステム委員会	9	94
労働安全衛生委員会	12	172
臨床研修委員会	6	117
廃棄物適正処理委員会	0	0
医療ガス安全管理委員会・医療ガス安全管理委員会(分院)	2	13
保険請求委員会	12	560
適切なコーディングに関する委員会	4	25
適切なコーディングに関する委員会(分院)	4	14
薬事・医材委員会	11	230
薬事・医材委員会(分院)	11	89
カルテ等書式委員会	11	91
カルテ等書式委員会(分院)	11	55
検査審査等委員会	0	0
輸血療法委員会	6	44
輸血療法委員会(分院)	6	20
臨床検査システム委員会	6	44
臨床検査システム委員会(分院)	6	20
フードサービス委員会	11	77
フードサービス委員会(分院)	11	66
褥瘡対策委員会	11	239
褥瘡対策委員会(分院)	11	54
診療情報システム委員会	6	103
NS委員会	11	185
健康生活支援室運営委員会	8	112
化学療法委員会	6	89
化学療法委員会(分院)	6	32
画像連絡委員会	12	292
医療放射線管理委員会	12	292
業務改善部会	8	28

河北家庭医療学センター

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
全体会～2022年度振り返りと2023年度目標の共有～	1	30
護身術セミナー	1	30
自転車講習会	1	20

臨床研修医

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
初期研修医オリエンテーション(入職時)	1	11
専攻医オリエンテーション	1	11
採血実習	25	206
木曜講義	41	379
外部講師による講義(症例教育)	3	27
一次救命処置講習	1	11
二次救命処置講習	1	11
胸腔ドレーン・動脈採血実習	5	11
外傷総合研修	1	10
ICU講義	2	22
気管挿管実習	3	11
CVカテーテル研修	3	11
超音波実習	4	11
内科救急・ICLS講習会	3	11
アドバンス・ケア・プランニング	1	11
緩和ケア研修会(PEACE)	1	11

医療技術職

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
医薬品勉強会・臨時	14	102
新規採用医薬品勉強会	9	218
薬剤科勉強会	8	130
医療放射線講習会	1	163
医療安全講習会(MRI)	1	89
医療安全講習会(職業被ばく・医療被ばく)	1	154
患者移乗研修(臨床検査科)	1	2
心電図読定および実技研修(臨床検査科)	6	162
臨床検査科勉強会(臨床検査科)	5	128
医療機器講習会(WEB配信・臨床工学科)	6	-
医療機器実技講習会(臨床工学科)	30	246
医療安全・医薬品安全管理研修(医療安全管理委員会・薬剤科)	2	229

シーダ・ウォーク

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
必須研修(プライバシー、R4、法令遵守、感染症、接遇、認知症、事故防止)	11	643

河北リハビリテーション病院

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
新人研修(リハビリテーション部門)	20	360
新入職員研修(教育委員会)	1	34
医療機器安全研修(医療機器安全委員会)	3	99
医療安全・医薬品安全管理研修(医療安全管理委員会)	2	177
感染研修(感染委員会)	4	214
接遇研修(接遇委員会)	1	-

河北透析クリニック

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
ワーキングチームによるテスト	23	782

河北健診クリニック

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
感染対策セミナー	4	43
がん検診精度管理報告会	1	23
院内勉強会	7	101

財団共通研修

2023年度

役割等級	階層別研修(役割等級に応じた研修)			目的別研修						自己啓発支援
				内部研修			外部研修			
M3級										
M2級										
M1級	管理職研修	財団の理念	心のケア チームビルディング 多職種連携による業務改善	新任科(課)長研修	理事長講話 労務管理基礎 ハラスメント研修	評価者研修	病院中堅職員育成研修	病院事務長研修	医療クリティカルセミナー	通信教育奨励制度
L3級	上級監督職研修	財団の理念	心のケア マインドフルネス ハラスメント研修	管理職候補者選抜研修	理事長講義					
L2級	中級監督職研修	財団の理念	心のケア フォローアップ 改善技法を使った職場改善	新任主任研修	理事長講話 主任の役割と心構え 労務管理基礎					
L1級	初級監督職研修	財団の理念	心のケア リーダーシップ 監督職の役割と責任							
S3級	スタッフ研修3	財団の理念	心のケア 後輩指導 後輩指導について考える							
S2級	スタッフ研修2	財団の理念	心のケア コミュニケーション 成功体験/失敗体験から学ぶ仕事のやり方							
S1級	定期新入社員フォロー研修 定期新入社員研修	財団の理念 幹部講和	仕事の振り返り ビジネスマナー 財団の理念 財団ルール	心のケア ストレス対処 社会人基礎 ビジネスマナー			新入職員研修 (東京都病院協会主催)			

研修項目

実施プログラム

要検討項目

看護統括部

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
KNSクリニックラダーⅠ チャレンジ研修	20	355
KNSクリニックラダーⅡ チャレンジ研修	3	44
KNSクリニックラダーⅢ チャレンジ研修	3	47
KNSクリニックラダーⅣ チャレンジ研修	3	44
スキルアップ研修 人事評価と目標管理	1	37
スキルアップ研修 看護と倫理	1	27
スキルアップ研修 看護専門職を活用しよう-コンサルテーションの基本-	4	16
KNS新入看護職員研修 教育担当者研修	2	15
KNS新入看護職員研修 実地指導者研修	4	47
KNS新入看護職員研修 指導者合同研修	4	61
看護専門実践研修 糖尿病看護コース	6	20
看護補助者研修	1	11
財団内看護統括部施設間研修	7	7
看護必要度コース オンデマンド研修(河北総合病院・分院)	3	795
認知症コース オンデマンド研修(河北総合病院・分院)	1	294
放射線オンデマンド(法律改正により研修必須のため)(河北総合病院・分院)	1	393
看護補助者充実体制オプション(河北総合病院・分院)	7	2,727
新入職者研修(入職時)(河北総合病院・分院)	12	393
看護補助者 クラーケンオンドマンド研修(河北総合病院・分院)	16	388
全日本病院協会 第45回ハイ研修旅行	1	2
看護を語る会(河北総合病院・分院)	9	9
科長会 DPC基本の理解と病床管理への適応勉強会(河北総合病院・分院)	1	21
科長会 診療報酬改定勉強会(河北総合病院・分院)	1	22
検査対策研修(河北総合病院・分院)	4	87
急診予測研修(RRT)(河北総合病院・分院)	2	61
心不全の看護研修(河北総合病院・分院)	1	19
糖尿病の看護研修(河北総合病院・分院)	1	20
DNAR研修(RRT)(河北総合病院・分院)	4	98

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
認知機能障害のある患者の看護(河北総合病院・分院)	1	11
患者の想いに寄り添う入退院支援研修(河北総合病院・分院)	1	10
CVポートの管理研修(河北総合病院・分院)	2	33
補助者・クラーク研修 認知症患者の対応(河北総合病院・分院)	2	30
補助者・クラーク研修 オムツ交換・体位変換(河北総合病院・分院)	2	26
補助者・クラーク研修 食事介助と口腔ケア(河北総合病院・分院)	2	26
補助者・クラーク研修 正しい患者確認(河北総合病院・分院)	2	33
補助者・クラーク研修 移乗・移送(河北総合病院・分院)	2	31
オムツ研修 (シーダ・ウォーク)	2	16
基礎研修・実践リーダー研修(東京都認知症介護研修の活用)(シーダ・ウォーク)	1	1
新入職員研修(教育委員会)(河北リハビリテーション病院)	1	11
新入職員研修(教育委員会)(河北リハビリテーション病院)	1	8
医療機器安全研修(医療機器安全委員会)(河北リハビリテーション病院)	2	27
医療安全・医薬品安全管理研修(河北リハビリテーション病院)	2	43
感染研修(感染委員会)(河北リハビリテーション病院)	2	66
ケースレポート(事例研究)発表会(河北リハビリテーション病院)	1	18
回復期リハビリ看護基礎研修	3	18
訪問看護師勉強会(河北家庭医療学センター)	21	231
東京都訪問看護教育ステーション事業(人材育成)Web開催(河北家庭医療学センター)	6	151
家庭医療科外来看護師 ミニ勉強会(河北家庭医療学センター)	14	70
東京都訪問看護教育ステーション事業(人材育成) 同行訪問研修(河北家庭医療学センター)	7	12
クリニック内勉強会(河北健診クリニック)	4	32
看護・介護質の向上検討会(天本病院)	1	10
リーダーシップ研修(天本病院)	1	5
メンバーシップ研修(天本病院)	1	4
看護統括部施設間(多摩事業部内)研修	5	5
倫理研修(天本病院)	1	18
講演会(外部講師、エンド・オブ・ライフを見据えた高齢者看護)天本病院	1	43

多摩事業部

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
新入職者研修/通年採用者研修	4	55
あいセーフティネット連携研修	5	52
幹部管理者研修	1	49
採用面接官研修(実技・GW)	1	5
評価者研修	2	58
コーチング研修	1	20
ファシリテーション研修	2	30
インバースットゲーム	2	22
メンタルヘルス研修	1	48
職場の心理的安全性研修	1	52
接遇マナー研修	1	26
外国籍職員研修	1	2
相談職・ケアマネ職種研修	2	73
事務職種研修	2	76

介護(老健・地域)

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
新入職者研修	2	26
全体研修	2	270

あい介護老人保健施設

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
ポジショニング・車椅子姿勢崩れ対策セミナー	2	20
失語勉強会	1	10
疥癬勉強会	1	37
初心者・中堅者研修 排泄ケア講習会	4	20
おむつマイスター	3	15

あい訪問看護ステーション中沢

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
人工呼吸器を装着したALS利用者との関わり	1	14
認定心理士の勉強会 認知バイアスについて	1	14
訪問看護の制度について勉強会	1	14
高齢者虐待防止研修会	1	14
ACP研修会~もしさばなゲーム実践	1	14
精神科看護についての研修会	2	28
ターミナルケア研修会	1	14

あいクリニック

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
風通しの良い職場環境構築PJ(CL)	10	78
診療報酬改定の勉強会(CL医事課)	1	5

あい在宅複合施設中沢

項目	開催数 (回)	延べ参加数 (人)
サイバーセキュリティ研修会(中沢3事業所共通)	1	26

環境へのおもいやり

河北医療財団は、1990年、経営方針の重要項目のひとつに「地球環境保全」を打ち出し、1997年に環境活動を始め、1998年、病院として初めてISO14001環境マネジメントシステム認証(2006年3月更新終了)を取得。2012年、医療業界では初めて「DBJ ビジョナリーホスピタル」の評価認定を受けました。2015年、環境省主催の「環境 人づくり企業大賞2015」において、環境大臣賞(大企業の部)をいただくなど、当財団の取り組みに対し高評価をいただいております。2008年より、KES環境マネジメントシステムの認証を取得し継続的に環境活動を続けております。

Topics 2023

環境活動の継続活動

環境活動の特徴として“継続活動”が挙げられます。前述の通り、1997年から環境活動を始め2023年までの26年間で延べ1,200人以上の環境プロモーターを輩出しています。

環境活動に従事した経験を持つ職員が各部門に複数名在籍することにより、活動への理解が大きく、より活性化されています。

活動内容も部門ごとに特徴が現れており、省エネであっても空調・照明・換気と様々な観点から自部署で無理なく継続的におこなえる内容を選択しています。

また、2023年度は、KES環境マネジメントシステムの確認審査に多摩事業部が初めて参加しました。

以前から根付いていた5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)活動をベースに、2019年より河北医療財団の環境活動に参画し、各事業所で足並みをそろえたえた環境活動を展開しつつあります。



感染性廃棄物処理場視察

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム委員会で立案され、環境マネジメント・ディレクターの承認を受けた財団の環境改善計画書を基に、各部署の環境プロモーターは自部署の「環境プログラム(年間計画)」を設定し、一年を通じ、部署独自の環境活動をおこなっております。2023年度の環境プロモーターは56部署から62名が務めました。

活動例:ごみ排出量の削減、コピー用紙の使用量削減、環境学習など



基本活動

当財団では、廃棄物、エネルギー、排水処理についてのデータを蓄積し、廃棄物・エネルギーデータは、環境マネジメントシステム委員会と環境プロモーターに毎月報告し、恒常的なごみ分別・減量、省エネに活かしております。

廃棄物の適正処理・減量

一次分別として、全16種類(紙、新聞、雑誌、カン、BIN、ペットボトル、生ごみ、廃プラ他、感染性廃棄物など)の分別をおこなっております。外来ホールなどではごみの種別ごとにごみ箱を設置し、病院を利用される方にも分別にご協力いただいております。また、テープの巻き芯の回収・寄付による植樹活動や、感染症廃棄物用リサイクルペール缶の一部採用による途上国の子供たちへのワクチンの支援をおこなっております。

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
総排出量 (t)	742.1	818.0	783.6	795.0	779.3	800.3
リサイクル率 (%)	69.4	68.2	70.8	69.9	70.3	70.3



電気・ガス関連

1997年よりコージェネレーションシステム※を実稼働させ、発電電力と商用電力との電源の二重化により、安定的な電力供給をおこなうとともに、夏場などのピーク電力の抑制にも実績を上げております。また、財団内施設の省エネ効果が高いと判定された場所について、LEDへの切り替えを進めました。人が頻繁に出入りしないところについては人感センサーや省エネ電球を利用するなど、用途・機能に応じた対応をおこなっております。

※コージェネレーションシステムとは
利用可能な複数のエネルギーを同時に生産し、運転効率を高めることで省エネルギーに役立てるものです。

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
電力使用量 (kWh)	7,522,845	7,088,318	6,914,660	6,964,037	6,625,254	6,784,579
ガス使用量 (m ³)	744,267	734,979	725,090	738,924	737,461	690,849
原油換算値	2,670	2,551	2,490	2,539	2,513	2,497

その他

●冷暖房設定温度(夏期:26~28度、冬期:18~22度)、クールビズ・ウォームビズの実施

※患者さんの療養環境を優先しているため、実際の室温は推奨温度と異なる場合もあります。

●パソコン関連

パソコンは省エネ効果の高い製品を導入しております。また、設置時にモニター輝度を40%に設定し、省電力に努めております。

●患者さんや来院者の方に優先的にエレベーターをご利用いただき、省エネのため、職員は原則、階段を使用しております。

●感染性廃棄物専用ペール(容器)を使用し、感染性廃棄物の運搬・中間処理における流出や針刺し事故の防止など処理事業者の安全性にも配慮しております。

環境教育

○事業と環境活動との関連性を理解するため、財団職員向けに年数回の環境見学を実施。



2023年度は、環境プロモーターを含めた計39名が、飲料空容器再資源化工場のオンライン見学に参加し、実際に空ペットボトル・瓶・カンのリサイクル処理を確認しました。

その他、財団で排出するプラスチックごみ、感染性廃棄物も全て国内で100%リサイクル処理されていることを確認しています。

環境監査

○環境内部監査(年1回)と、外部審査機関「特定非営利活動法人KES環境機構策定の環境マネジメント規格」による外部審査を受け、活動の見直しや改善を図っております。

DBJビジョナリーホスピタル

○株式会社日本政策投資銀行(DBJ)が開発した環境評価システムにより、「DBJビジョナリーホスピタル」の認定を受け、「環境配慮に優れた病院」として、受審医療機関の中で最高位ランクBの環境格付融資を受けております。(2017年度)

詳細はホームページをご覧ください。 https://kawakita.or.jp/kmf/content_effort/sympathy/

統計 | 杉並事業部

河北総合病院／分院／河北サテライト クリニック

入院診療実績

単位:人

		2021年度	2022年度	2023年度
内科	入院患者延数	56,945	49,186	60,007
	新入院患者数	4,277	3,451	4,084
	1日平均患者数	156.0	134.8	164.0
	前年比	90.4%	86.4%	122.0%
小児科	入院患者延数	3,629	3,490	4,524
	新入院患者数	754	886	1,237
	1日平均患者数	9.9	9.6	12.4
	前年比	104.6%	96.2%	129.6%
産婦人科	入院患者延数	3,164	3,188	3,238
	新入院患者数	607	654	753
	1日平均患者数	8.7	8.7	8.8
	前年比	87.9%	100.8%	101.6%
耳鼻咽喉科	入院患者延数	2,938	3,231	3,948
	新入院患者数	483	578	763
	1日平均患者数	8.0	8.9	10.8
	前年比	89.3%	110.0%	122.2%
外科	入院患者延数	8,274	8,820	8,771
	新入院患者数	818	812	899
	1日平均患者数	22.7	24.2	24.0
	前年比	88.4%	106.6%	99.4%
形成外科・美容外科	入院患者延数	149	40	28
	新入院患者数	46	26	11
	1日平均患者数	0.4	0.1	0.1
	前年比	43.7%	26.8%	70.0%
乳腺外科	入院患者延数	535	646	457
	新入院患者数	58	70	51
	1日平均患者数	1.5	1.8	1.2
	前年比	120.0%	120.7%	70.7%
脳神経外科	入院患者延数	10,329	9,747	10,648
	新入院患者数	549	572	648
	1日平均患者数	28.3	26.7	29.1
	前年比	167.6%	94.4%	109.2%
心臓血管外科	入院患者延数	779	1,032	592
	新入院患者数	35	33	36
	1日平均患者数	2.1	2.8	1.6
	前年比	188.6%	132.5%	57.4%
呼吸器外科	入院患者延数	885	2,779	3,368
	新入院患者数	105	205	220
	1日平均患者数	2.4	7.6	9.2
	前年比	489.0%	314.0%	121.2%
皮膚科	入院患者延数	—	—	—
	新入院患者数	—	—	—
	1日平均患者数	—	—	—
	前年比	—	—	—
泌尿器科	入院患者延数	2,106	2,328	2,248
	新入院患者数	334	400	374
	1日平均患者数	5.8	6.4	6.1
	前年比	119.2%	110.5%	96.6%
眼科	入院患者延数	423	677	642
	新入院患者数	558	705	820
	1日平均患者数	1.2	1.9	1.8
	前年比	109.6%	160.0%	94.8%
整形外科	入院患者延数	13,791	13,494	14,567
	新入院患者数	1,008	1,026	1,161
	1日平均患者数	37.8	37.0	39.8
	前年比	100.3%	97.8%	108.0%
救急科※	入院患者延数	—	577	847
	新入院患者数	—	280	462
	1日平均患者数	—	1.6	2.3
	前年比	—	—	146.8%
合計	入院患者延数	103,947	99,235	113,885
	新入院患者数	9,632	9,698	11,519
	1日平均患者数	284.8	271.9	311.2
診療日数	前年比	97.9%	95.5%	114.8%
診療日数		365 日	365 日	366 日

※2021年度の救急科の患者数は各診療科に含まれる

平均在院日数の推移

単位:日

	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度詳細
4月	9.9	10.1	9.2	河北総合病院 9.1 分院 12.0
5月	10.4	10.7	9.7	9.5 14.1
6月	10.1	9.7	9.4	9.1 14.2
7月	10.5	9.7	9.8	9.4 16.4
8月	10.6	10.3	9.6	9.0 22.7
9月	11.0	9.5	9.9	9.6 13.4
10月	10.7	9.7	9.8	9.5 13.3
11月	10.8	9.9	9.5	9.0 19.7
12月	9.8	10.0	9.9	9.5 15.5
1月	11.3	10.9	11.4	10.9 19.8
2月	12.1	9.6	9.8	9.3 18.0
3月	10.1	9.7	10.1	9.7 17.6
合計	10.6	10.0	9.8	9.5 16.2

※ICU・CCU病棟は含まない。

診療科別平均在院日数

単位:日

	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度詳細
内科	12.8	12.8	13.3	河北総合病院 12.8 分院 16.2
小児科	4.7	4.0	3.7	3.7 —
産婦人科	5.3	4.9	4.3	4.3 —
耳鼻咽喉科	5.9	5.6	5.2	5.2 —
外科	9.8	10.7	9.6	9.6 —
形成外科・美容外科	3.3	1.6	2.7	2.7 —
乳腺外科	※ —	9.1	9.0	9.0 —
脳神経外科	18.3	16.9	16.5	16.5 —
心臓血管外科	22.0	27.6	16.0	16.0 —
呼吸器外科	9.0	13.2	14.8	14.8 —
皮膚科	—	—	—	— —
泌尿器科	6.2	5.9	5.9	5.9 —
眼科	0.8	0.9	0.8	0.8 —
整形外科	13.6	13.0	12.6	12.6 —
合計	10.6	10.0	9.8	9.5 16.2

※システム上の都合により外科に含む。

入退院経路

単位:人

退院経路 入院経路	通院不要	当院外来	診療所	他病院 外来	他病院 入院	他病院入院 (分院-河北総合病院)	死亡	自主退院	その他	合計
当院外来	521	3,968	252	139	490	0	93	9	76	5,548
診療所	215	2,751	549	69	329	0	80	2	62	4,057
他病院外来	33	403	33	66	72	0	13	3	11	634
他病院入院	4	71	20	10	164	0	26	0	29	324
他病院入院 (河北総合病院一分院)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
院内出生	0	103	0	1	1	0	0	0	1	106
その他	4	134	27	5	118	0	67	0	556	911
合計	777	7,430	881	291	1,174	0	279	14	735	11,581

年齢別患者数(入院)

単位:人

年齢区分	2021年度		2022年度		2023年度	
	年齢	患者数	年齢	患者数	年齢	患者数
0~14歳	3,779	3.6%	3,682	3.7%	5,028	4.4%
15~64歳	26,443	25.4%	22,079	22.2%	24,751	21.7%
65~69歳	5,681	5.5%	5,926	6.0%	6,073	5.3%
70~74歳	10,310	9.9%	8,909	9.0%	9,403	8.3%
75~79歳	11,120	10.7%	12,154	12.2%	12,933	11.4%
80~84歳	14,201	13.7%	16,122	16.2%	17,912	15.7%
85~89歳	18,047	17.4%	17,005	17.1%	18,494	16.2%
90歳以上	14,366	13.8%	13,358	13.5%	19,291	16.9%
合計	103,947		99,235		113,885	

病床利用率の推移

病棟	2021年度※	2022年度※	2023年度
河北総合病院 本館1階ICU	66.9%	63.5%	74.9%
河北総合病院 CCU	75.3%	76.3%	80.5%
ICU・CCU計	71.1%	69.9%	77.7%
河北総合病院 HCU	55.4%	56.6%	71.1%
河北総合病院 本館2・3階	91.4%	84.9%	87.9%
河北総合病院 本館4階	87.3%	90.0%	91.6%
河北総合病院 本館5階	59.1%	44.4%	90.1%
河北総合病院 東館2階	92.3%	90.1%	91.0%
河北総合病院 東館3階	92.4%	90.3%	92.8%
河北総合病院 東館4階	89.2%	90.7%	90.9%
河北総合病院 新館2階	56.6%	59.0%	61.3%
河北総合病院 新館4階	39.1%	35.2%	55.8%
一般病棟計	80.4%	77.1%	86.0%
河北総合病院 計	79.5%	76.3%	85.4%
分院HCU	22.6%	8.7%	0%
分院2階	28.4%	23.7%	75.2%
分院3階	30.3%	31.6%	0%
河北総合病院分院 計	28.6%	25.3%	37.6%
合計	70.0%	66.8%	76.5%

■ 病床利用率(23時59分時点) = 入院延患者数 / (稼働病床数 × 診療日数)

※ 2021年度、2022年度はCOVID-19患者受け入れ及び感染対策のため一部の病床は休床

外来診療実績

単位:人

		2021年度	2022年度	2023年度
内科	外来患者延数	97,177	85,974	86,599
	新外来患者数	14,409	6,894	7,134
	1日平均患者数	330.5	292.4	294.6
	前年比	105.1%	88.5%	100.7%
小児科	外来患者延数	17,193	15,928	17,870
	新外来患者数	3,047	1,428	1,689
	1日平均患者数	58.5	54.2	60.8
	前年比	111.5%	92.6%	112.2%
産婦人科	外来患者延数	15,350	15,335	15,278
	新外来患者数	1,236	1,032	1,132
	1日平均患者数	52.2	52.2	52.0
	前年比	109.5%	99.9%	99.6%
耳鼻咽喉科	外来患者延数	10,121	10,454	10,939
	新外来患者数	2,113	2,083	2,562
	1日平均患者数	34.4	35.6	37.2
	前年比	115.8%	103.3%	104.6%
外科	外来患者延数	9,474	9,461	8,646
	新外来患者数	1,415	530	528
	1日平均患者数	32.2	32.2	29.4
	前年比	102.9%	99.9%	91.4%
形成外科・美容外科	外来患者延数	1,921	1,663	1,466
	新外来患者数	280	273	278
	1日平均患者数	6.5	5.7	5.0
	前年比	125.8%	86.6%	88.2%
乳腺外科	外来患者延数	4,023	4,510	4,403
	新外来患者数	—※1	372	366
	1日平均患者数	13.7	15.3	15.0
	前年比	134.5%	112.1%	97.6%
脳神経外科	外来患者延数	3,590	3,970	4,235
	新外来患者数	455	346	425
	1日平均患者数	12.2	13.5	14.4
	前年比	130.4%	110.6%	106.7%
心臓血管外科	外来患者延数	1,637	1,682	1,758
	新外来患者数	50	69	61
	1日平均患者数	5.6	5.7	6.0
	前年比	121.2%	102.7%	104.5%
呼吸器外科	外来患者延数	989	1,540	1,697
	新外来患者数	73	83	67
	1日平均患者数	3.4	5.2	5.8
	前年比	148.1%	155.7%	110.2%
皮膚科	外来患者延数	3,100	2,679	4,328
	新外来患者数	176	184	689
	1日平均患者数	10.5	9.1	14.7
	前年比	123.3%	86.4%	161.6%
泌尿器科	外来患者延数	11,463	12,401	12,225
	新外来患者数	946	984	979
	1日平均患者数	39.0	42.2	41.6
	前年比	105.6%	108.2%	98.6%
眼科	外来患者延数	11,219	13,114	11,197
	新外来患者数	1,226	1,271	1,178
	1日平均患者数	38.2	44.6	38.1
	前年比	121.7%	116.9%	85.4%
整形外科	外来患者延数	26,195	28,076	27,266
	新外来患者数	2,005	1,550	1,839
	1日平均患者数	89.1	95.5	92.7
	前年比	105.2%	107.2%	97.1%
神経科	外来患者延数	8,801	8,537	7,826
	新外来患者数	208	150	126
	1日平均患者数	29.9	29.0	26.6
	前年比	102.4%	97.0%	91.7%
救急科※2	外来患者延数	—	11,985	10,411
	新外来患者数	—	8,634	7,750
	1日平均患者数	—	40.8	35.4
	前年比	—	—	86.9%
合 計	外来患者延数	222,253	227,309	226,144
	新外来患者数	27,639	25,883	26,803
	1日平均患者数	756.0	773.2	769.2
	前年比	108.3%	102.3%	99.5%
診療日数		294 日	294 日	294 日

年齢別患者数(外来)

単位:人

年齢区分	2021年度	2022年度	2023年度	
0~14歳	19,467	8.8%	20,877	9.2%
15~64歳	90,838	40.9%	90,178	39.9%
65~69歳	16,130	7.3%	16,414	7.3%
70~74歳	25,744	11.6%	22,611	10.0%
75~79歳	23,266	10.5%	26,243	11.6%
80~84歳	22,011	9.9%	23,873	10.6%
85~89歳	17,114	7.7%	17,087	7.6%
90歳以上	7,683	3.5%	8,861	3.9%
合 計	222,253	—	226,144	—

紹介率・逆紹介率 (河北総合病院のみ)

	2021年度	2022年度	2023年度
紹介率(%)	※60.0%	72.1%	79.6%
紹介患者数(人)	9,475	9,091	11,251
逆紹介率(%)	47.2%	67.5%	77.7%
逆紹介患者数(人)	7,461	8,516	10,989
初診患者数(人)	15,799	12,609	14,135

■紹介率 = 紹介患者数 / 初診患者数(救急搬送患者を除く)

■逆紹介率 = 逆紹介患者数 / 初診患者数(地域医療支援病院算定式に則る)

※COVID-19患者受け入れおよび感染対策のため要件未達(厚労省事務連絡に基づく)

救急患者数

単位:人

		2021年度		2022年度		2023年度	
		外来	内入院	外来	内入院	外来	内入院
内科	延患者数 入院率	6,349	1,855 29.2%	5,972	1,720 28.8%	6,312	2,586 41.0%
小児科	延患者数 入院率	2,615	257 9.8%	2,919	367 12.6%	2,548	428 16.8%
産婦人科	延患者数 入院率	326	181 55.5%	357	199 55.7%	365	182 49.9%
耳鼻咽喉科	延患者数 入院率	229	51 22.3%	499	59 11.8%	527	123 23.3%
外科	延患者数 入院率	1,651	244 14.8%	2,595	217 8.4%	2,098	274 13.1%
脳神経外科	延患者数 入院率	1,945	476 24.5%	1,340	448 33.4%	1,476	496 33.6%
心臓血管外科	延患者数 入院率	7	4 57.1%	13	5 38.5%	12	7 58.3%
呼吸器外科	延患者数 入院率	36	30 83.3%	87	64 73.6%	98	69 70.4%
皮膚科	延患者数 入院率	119	1 0.8%	95	2 2.1%	59	2 3.4%
泌尿器科	延患者数 入院率	369	21 5.7%	367	15 4.1%	397	25 6.3%
眼科	延患者数 入院率	4	1 25.0%	10	0 0.0%	10	1 10.0%
整形外科	延患者数 入院率	1,410	328 23.3%	1,320	317 24.0%	1,153	348 30.2%
合計	延患者数	15,060	3,449	15,574	3,413	15,055	4,541
	月平均	1,255	287	1,298	284	1,255	378
	入院率	22.9%		21.9%		30.2%	

救急車搬送件数

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
搬送件数	7,385	7,984	8,539
内入院件数	2,051	2,217	3,075
入院率	27.8%	27.8%	36.0%

河北救急車出動回数

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
出動回数	541	461	647

施設別詳細

入院患者延数

(診療日数 366 日) 単位:人

2023年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻 咽喉科	外科	形成外科・ 美容外科	乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	救急科	合計
河北総合病院	49,544	4,524	3,238	3,948	8,771	28	457	10,648	592	3,368	—	2,248	642	14,567	847	103,422
分院	10,463	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10,463
計	60,007	4,524	3,238	3,948	8,771	28	457	10,648	592	3,368	—	2,248	642	14,567	847	113,885
1日平均	164.0	12.4	8.8	10.8	24.0	0.1	1.2	29.1	1.6	9.2	—	6.1	1.8	39.8	2.3	311.2

新入院患者数

(診療日数 366 日) 単位:人

2023年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻 咽喉科	外科	形成外科・ 美容外科	乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	救急科	合計
河北総合病院	3,510	1,237	753	763	899	11	51	648	36	220	—	374	820	1,161	462	10,945
分院	574	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	574
計	4,084	1,237	753	763	899	11	51	648	36	220	—	374	820	1,161	462	11,519
1日平均	11.2	3.4	2.1	2.1	2.5	0.0	0.1	1.8	0.1	0.6	—	1.0	2.2	3.2	1.3	31.5

*河北総合病院⇒分院による転院による入院を除く

外来患者延数

(診療日数 294 日) 単位:人

2023年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻 咽喉科	外科	形成外科・ 美容外科	乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	神経科	救急科	合計
河北総合病院	8,153	16,579	15,278	10,939	8,646	1,466	4,403	4,235	1,758	1,697	1	12,225	17	27,266	4	10,411	123,078
分院	78,446	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	7,822	—	86,269
河北サテライトクリニック	0	1,291	—	—	—	—	—	—	—	—	4,326	—	11,180	—	—	—	16,797
計	86,599	17,870	15,278	10,939	8,646	1,466	4,403	4,235	1,758	1,697	4,328	12,225	11,197	27,266	7,826	10,411	226,144
1日平均	294.6	60.8	52.0	37.2	29.4	5.0	15.0	14.4	6.0	5.8	41.6	38.1	92.7	26.6	35.4	769.2	

新外来患者数

(診療日数 294 日) 単位:人

2023年度	内科	小児科	産婦人科	耳鼻 咽喉科	外科	形成外科・ 美容外科	乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	神経科	救急科	合計
河北総合病院	3,090	1,554	1,132	2,562	528	278	366	425	61	67	1	979	8	1,839	0	7,750	20,640
分院	4,044	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	126	—	4,170
河北サテライトクリニック	0	135	—	—	—	—	—	—	—	—	688	—	1,170	—	—	—	1,993
計	7,134	1,689	1,132	2,562	528	278	366	425	61	67	689	979	1,178	1,839	126	7,750	26,803
1日平均	24.3	5.7	3.9	8.7	1.8	0.9	1.2	1.4	0.2	0.2	2.3	3.3	4.0	6.3	0.4	26.4	91.2

手術件数

単位:件

		産婦人科	耳鼻 咽喉科	外 科	形成外科・ 美容外科	乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	皮膚科	泌尿器科	眼 科	整形外科	内科	合計	月平均
2021年度	延件数 前年比	307 114%	174 107%	580 93%	160 133%	52 106%	135 153%	38 165%	54 174%	-	303 121%	563 144%	972 109%	73 100%	3,411 115%	284.3
2022年度	延件数 前年比	332 108%	214 123%	612 106%	147 92%	68 131%	129 96%	34 89%	61 113%	-	368 121%	809 144%	1,036 107%	98 134%	3,908 115%	325.7
2023年度	延件数 前年比	336 101%	292 136%	693 113%	170 116%	45 66%	165 128%	33 97%	67 110%	-	319 87%	827 102%	1,186 114%	90 92%	4,223 108%	351.9

麻酔件数(2023年度詳細)

単位:件

		産婦人科	耳鼻 咽喉科	外 科	形成外科・ 美容外科	乳腺外科	脳神経 外科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	皮膚科	泌尿器科	眼 科	整形外科	内科	合計
全 麻	延件数 (内 緊急手術件数)	258 (20)	285 (7)	577 (175)	6 (0)	44 (0)	108 (32)	26 (4)	66 (5)	-	260 (5)	10 (1)	850 (58)	1 (0)	2,491 (307)
全麻以外	延件数 (内 緊急手術件数)	78 (47)	7 (0)	116 (6)	164 (0)	1 (0)	57 (41)	7 (1)	1 (0)	-	59 (0)	817 (9)	336 (95)	89 (0)	1,732 (199)
合 計	延件数 (内 緊急手術件数)	336 (67)	292 (7)	693 (181)	170 (0)	45 (0)	165 (73)	33 (5)	67 (5)	-	319 (5)	827 (10)	1,186 (153)	90 (0)	4,223 (506)

内視鏡検査件数の推移

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
入 院	1,487 (453)	1,381 (427)	1,524 (465)
外 来	4,152 (864)	4,164 (887)	3,995 (861)
合 計	5,639 (1,317)	5,545 (1,314)	5,519 (1,326)
月平均	469.9 (109.8)	462.1 (109.5)	459.9 (110.5)
前年比	116.2%	-	98.3% -
	99.5% -		

※() = 内 ポリエクトミー & 手術件数

分娩件数の推移

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
合 計	292	297	246
月平均	24.3	24.8	20.5
前年比	84.6%	101.7%	82.8%

病理検査件数の推移

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
組 織 診	入 院	2,046	2,221
	外 来	2,578	2,651
	計	4,624	4,872
	月平均	385	406
	前年比	117.0%	105.4%
細胞診	入 院	724	565
	外 来	11,809	8,872
	計	12,533	9,437
	月平均	1,044	786
	前年比	105.3%	75.3%
			104.4%

剖検状況の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
院内死亡退院数(人)	223	221	281
剖 検 数(件)	6	8	10
剖 検 率(%)	2.7%	3.6%	3.6%

リハビリテーション実施件数の推移

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
心大血管	入 院	11,101	10,491
	外 来	929	993
	計	12,030	11,484
脳 血 管	入 院	36,362	31,792
	外 来	907	617
	計	37,269	32,409
廃用症候群等	入 院	29,296	28,461
	外 来	0	21
	計	29,296	28,482
運動 器	入 院	19,923	20,550
	外 来	21,793	25,444
	計	41,716	45,994
呼 吸 器	入 院	10,871	11,048
	外 来	18	4
	計	10,889	11,052
が ん	入 院	1,756	1,356
	外 来	0	0
	計	1,756	1,356
合 計	入 院	109,309	103,698
	外 来	23,647	27,079
	計	132,956	130,777
	月平均	11,080	10,898
	前年比	101.3%	98.4%
			103.5%

訪問リハビリテーション

	2021年度	2022年度	2023年度
訪問回数(件)	4,311	3,842	3,525
利用者数(人)	766	709	640
月平均(件)	359	320	294
前年比	112.8%	89.1%	91.7%

画像診断検査件数の推移

単位:検査数(一般撮影のみ部位数)

		2021年度	2022年度	2023年度
一般撮影 (河北総合病院+分院+河北サテライトクリニック)	入院	19,227	20,145	21,904
	外来	26,250	29,906	31,445
	計	45,477	50,051	53,349
	月平均	3,790	4,171	4,446
	前年比	102.3%	110.1%	106.6%
X線透視 (TV室+OPE室)	入院	1,018	1,059	1,061
	外来	138	145	122
	計	1,156	1,204	1,183
	月平均	96	100	99
	前年比	104.5%	104.2%	98.3%
R I	入院	97	57	61
	外来	580	568	514
	計	677	625	575
	月平均	56	52	48
	前年比	122.9%	92.3%	92.0%
血管造影 (第1カテ+第2カテ)	入院	1,030	1,050	1,093
	外来	97	93	131
	計	1,127	1,143	1,224
	月平均	94	95	102
	前年比	112.4%	101.4%	107.1%
骨密度	入院	63	221	241
	外来	824	1,053	1,197
	計	887	1,274	1,438
	月平均	74	106	120
	前年比	100.0%	143.6%	112.9%
CT (CT①+CT②)	入院	3,754	3,357	3,523
	外来	18,854	17,328	18,689
	計	22,608	20,685	22,212
	月平均	1,884	1,724	1,851
	前年比	94.8%	91.5%	107.4%
MRI (1.5T MRI+0.4T MRI)	入院	1,222	1,139	1,313
	外来	5,797	5,437	5,584
	計	7,019	6,576	6,897
	月平均	585	548	575
	前年比	116.0%	93.7%	104.9%
超音波 (河北総合病院+分院+河北サテライトクリニック)	入院	3,034	2,633	3,188
	外来	10,513	10,327	10,870
	計	13,547	12,960	14,058
	月平均	1,129	1,080	1,172
	前年比	111.4%	95.7%	108.5%

外来超音波件数の推移

単位:検査数

		2021年度	2022年度	2023年度
泌尿器科	入院	6	5	5
	外来	556	388	384
	計	562	393	389
	月平均	47	33	32
	前年比	96.1%	69.9%	99.0%
産婦人科	入院	—	—	117
	外来	—	—	8,033
	計	—	—	8,150
	月平均	—	—	679
	前年比	—	—	—

※算出方法の変更により2022年度以前は未集計

内服薬処方箋

		2021年度	2022年度	2023年度
枚数(枚)	枚数	62,663	56,447	66,791
	月平均	5,222	4,704	5,566
	前年比	104.3%	90.1%	118.3%
調剤件数(件)	件数	138,695	130,854	162,710
	月平均	11,558	10,905	13,559
	前年比	103.0%	94.3%	124.3%
剤数(個)	日数	943,436	865,812	1,089,368
	月平均	78,620	72,151	90,781
	前年比	105.0%	91.8%	125.8%

注射処方箋

		2021年度	2022年度	2023年度
枚数(枚)	枚数	38,098	36,865	76,916
	月平均	3,175	3,072	6,410
	前年比	103.2%	96.8%	208.6%
件数(件)	件数	109,808	95,321	170,096
	月平均	9,151	7,943	14,175
	前年比	109.1%	86.8%	178.4%
剤数(個)	剤数	227,996	189,504	331,554
	月平均	19,000	15,792	27,630
	前年比	105.6%	83.1%	175.0%

※2023年度は臨時処方調剤を実施したため件数が増加

薬剤加算指導件数

単位:件

		2021年度	2022年度	2023年度
薬剤管理指導件数	件数	12,672	14,281	20,450
	前年比	103.4%	112.7%	143.2%
麻薬管理指導加算件数	件数	124	289	558
	前年比	77.5%	233.1%	193.1%
退院時薬剤情報管理指導件数	件数	4,861	5,167	6,374
	前年比	119.0%	106.3%	123.4%
化学療法加算枚数	枚数	1,904	2,080	1,868
	前年比	118.9%	109.2%	89.8%
その他無菌製剤枚数(加算)	枚数	663	613	696
	前年比	105.6%	92.5%	113.5%

臨床検査件数の推移

単位:件

		2021年度			2022年度			2023年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
一般	検査件数	8,707	103,868	112,575	9,536	108,149	117,685	10,496	114,310	124,806
	月平均	726	8,656	9,381	795	9,012	9,807	875	9,526	10,401
血液	前年比			105.1%			104.5%			106.1%
	検査件数	178,565	539,372	717,937	171,179	539,583	710,762	194,371	573,420	767,791
免疫	月平均	14,880	44,948	59,828	14,265	44,965	59,230	16,198	47,785	63,983
	前年比			105.3%			99.0%			108.0%
細菌	検査件数	64,938	242,984	307,922	56,486	221,597	278,083	63,009	235,441	298,450
	月平均	5,412	20,249	25,660	4,707	18,466	23,174	5,251	19,620	24,871
生化学	前年比			108.5%			90.3%			107.3%
	検査件数	396,612	1,608,341	2,004,953	378,876	1,596,124	1,975,000	423,295	1,686,926	2,110,221
生理機能	月平均	33,051	134,028	167,079	31,573	133,010	164,583	35,275	140,577	175,852
	前年比			105.6%			98.5%			106.8%
合計	検査件数	2,552	22,159	24,711	2,304	22,673	24,977	2,867	23,513	26,380
	月平均	213	1,847	2,059	192	1,889	2,081	239	1,959	2,198
	前年比			105.0%			101.1%			105.6%
	検査件数	663,633	2,533,180	3,196,813	630,137	2,502,486	3,132,623	707,452	2,652,802	3,360,254
	月平均	55,303	211,098	266,401	52,511	208,541	261,052	58,954	221,067	280,021
	前年比			105.7%			98.0%			107.3%

※システム上の都合により時間外を含む

外注検査件数

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
件数	100,305	98,348	101,639
月平均	8,359	8,196	8,470
前年比	109.0%	98.0%	103.3%

栄養指導件数

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度	
個人指導	入院 加算	2,176	1,857	2,057
	非加算	6,464	6,699	9,818
集団指導	外来 加算	1,182	709	873
	非加算	4	7	14
	入院 加算	12	139	269
	非加算	0	0	0
	外来 加算	0	0	0
	非加算	0	0	0
N S T (栄養サポートチーム加算)		502	355	490
合計		10,340	9,766	13,521
月平均		862	814	1,127

食数

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度	
総食数	件数	274,157	255,559	295,875
	月平均	22,846	21,297	24,656
特別食	件数	110,384	101,254	112,430
	月平均	9,199	8,438	9,369
自費食	件数	4,714	5,320	4,865
	月平均	393	443	405

疾病別・診療科別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		眼科	形美外科	呼外科	産婦人	耳鼻科	小児科	消外科	心外科	整外科	内科	乳外科	脳外科	泌尿器	合計		
I	感染症および寄生虫症	男				1		18	58	2			77			156		
		女				6	18	41	1				73			139		
		計			1	6	36	99	3				150			295		
II	新生物＜腫瘍＞	男		1	111		6		169		1	228	2	3	220	741		
		女	1	2	33	157	4		102			147	49	5	16	516		
		計	1	3	144	157	10		271		1	375	51	8	236	1,257		
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男					4		5	2			53			60		
		女					3		5				32		1	45		
		計				4		8	7				85		1	105		
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男						19				66				86		
		女			1			17				70				88		
		計			1			36				136			1	174		
V	精神および行動の障害	男										3				3		
		女										5				8		
		計										8				11		
VI	神経系の疾患	男						19	15			3	69		21		127	
		女						24	15			2	56		14		111	
		計						43	30			5	125		35		238	
VII	眼および付属器の疾患	男	365	2			1										368	
		女	485	3									1				493	
		計	850	5			1						1				861	
VIII	耳および乳様突起の疾患	男					109	2					4		1		112	
		女					134	7					4		1		145	
		計					243	9					4		1		257	
IX	循環器系の疾患	男						2		2	28	1	637		213		883	
		女			2					7	1	434		229			673	
		計			2			2		2	35	2	1,071		442		1,556	
X	呼吸器系の疾患	男			58		205	207	3			224					697	
		女			13		138	138	1			210	1				501	
		計			71		343	345	4			434	1				1,198	
XI	消化器系の疾患	男					9	4	324			422				1	760	
		女					5	2	245			333					585	
		計					14	6	569			755			1		1,345	
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男			1		1	17	2			2	18				41	
		女	1					10	1			3	22		1		38	
		計	1	1			1	27	3			5	40		1		79	
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男						13	2			70	44		3		132	
		女						9	1			90	61		1		162	
		計						22	3			160	105		4		294	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男			1		1	14	4			231					115	
		女			64		3	8	3			200	1				366	
		計	1	64	4		22	7				431	1				309	
XV	妊娠、分娩および産じよくく禰	男					495										495	
		女					495										495	
		計																
XVI	周産期に発生した病態	男							60								60	
		女							60								60	
		計							120								120	
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男					5		1			2		3			11	
		女			2		5	1				2	3				13	
		計			2		10	1	1			2	5		3		24	
XVIII	症状、徵候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男					5	32	1			103		1			142	
		女			2		4	30	2			79		1			120	
		計			2		9	62	3			182		2			262	
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	2		10		6	250	2	1	374	59		67			771	
		女	1	1	6	1	2	135	3		560	66		71			846	
		計	3	1	16	1	8	385	5	1	934	125		138			1,617	
XX I	健康状態に影響をおぼす要因および保健サービスの利用	男							4			9					13	
		女							1			3					4	
		計							5			12					17	
XX II	特殊目的用コード	男					2	20				130			2		154	
		女					3	19				134		2			158	
		計					5	39				264		2			312	
総計			男	367	3	182		387	718	518	29	451	2,375	2	312	339	5,683	
			女	487	7	57	731	340	502	365	7	658	1,933	51	325	46	5,509	
			計	854	10	239	731	727	1,220	883	36	1,109	4,308	53	637	385	11,192	

疾病別・年齢別患者数(大分類)

ICD	国際分類大項目分類		0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100~105歳	105歳~	合計	平均(歳)	
I	感染症および寄生虫症	男	50	7	1	4	9	6	4	2	1	6	6	7	4	8	5	14	8	6	6	2			156	38	
		女	28	7	5	9	11	3	5	2	6	2	3	4	3	4	3	11	12	12	8	1			139	43	
		計	78	14	6	13	20	9	9	4	7	8	9	11	7	12	8	25	20	18	14	2	1		295	40	
II	新生物<腫瘍>	男				1	1	2	3	10	6	20	39	45	96	103	173	135	85	21	1			741	74		
		女			1	12	13	23	24	24	34	36	18	30	24	35	84	66	51	30	9	2			516	66	
		計			1	13	14	25	27	34	40	56	57	75	120	138	257	201	136	51	10	2			1,257	70	
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	2	2	1	1	2		1		3	2	2	1	3	6	4	5	8	11	6				60	66	
		女	3				1	1	2	3	1	1			1	3	8	5	8	7	1				45	68	
		計	5	2	1	1	3	1	3	4	3	2	1	4	9	4	13	13	19	13	1				105	67	
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	2	8	9			1	1		3	3	2	3	4	6	8	14	4	13	4		1		86	62	
		女	3	14				1	1		2	2	3	5	4	2	4	13	10	9	14	1			88	58	
		計	5	22	9			2	2		5	5	5	8	8	8	12	27	14	22	18	1	1		174	60	
V	精神および行動の障害	男																						3	84		
		女		1	2	1																		8	39		
		計		1	2	1																		11	51		
VI	神経系の疾患	男	12	5	3	2	4	2	4	5	7	6	5	6	9	13	12	10	9	9	4				127	53	
		女	7	3	5	1	5	5	4	2	1	5	4	3	3	6	1	18	11	16	7	4			111	59	
		計	19	8	8	3	9	7	8	7	8	11	9	9	12	19	13	28	20	25	11	4			238	56	
VII	眼および付属器の疾患	男		1						4	2	2	4	6	17	21	19	43	95	77	49	23	5			368	76
		女		1	1	3					2	2	2	2	15	14	23	46	158	108	84	32	2			493	77
		計		1	2	3				4	2	4	6	8	32	35	42	89	253	185	133	55	7			861	77
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	9		2	2	3	4	4	3	9	4	13	13	7	13	14	21	10	11	3				145	51	
		女	15	5	2	1	1	3	3	2	6	4	12	11	6	7	8	7	4					112	58		
		計	24	5	4	3	4	7	7	5	15	8	25	24	13	20	22	28	18	18	7				257	55	
IX	循環器系の疾患	男		1	1	2	1	3	5	12	11	35	51	68	77	92	73	175	123	98	42	11	2			883	71
		女						2	4	5	13	18	22	23	25	41	41	87	119	122	102	44	5			673	78
		計		1	1	2	1	5	9	17	24	53	73	91	102	133	114	262	242	220	144	55	7			1,556	74
X	呼吸器系の疾患	男	178	42	5	21	36	35	25	32	17	23	18	20	17	20	18	51	48	41	30	19	1			697	41
		女	109	32	8	7	27	21	18	12	11	10	8	14	15	14	11	27	40	50	39	25	3			501	47
		計	287	74	13	28	63	56	43	44	28	33	26	34	32	34	29	78	88	91	69	44	4			1,198	43
XI	消化器系の疾患	男	1	2	4	2	5	16	18	27	32	35	42	62	58	59	55	106	94	88	47	6	1			760	67
		女	2	3	5	6	7	17	14	19	24	25	19	22	40	30	70	87	103	73	17	2			585	72	
		計	1	4	7	7	11	23	35	41	51	59	67	81	80	99	85	176	181	191	120	23	3			1,345	69
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男	7	8	2			2		1	2	2			2	1	1	5	2	3	2	1			41	41	
		女	5	5				2		1	4	3			4	2	2	7	5	14	5	2	1		1	38	59
		計	12	13	2			2		1	4	3			4	2	2	7	5	14	5	2	1		1	79	50
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男	13		9	4	7	2	2		4	8	2	11	11	9	16	16	7	11					132	57	
		女	9		2	1	2	1	1	2	2	1	4	9	2	9	14	25	25	30	14	9			162	71	
		計	22		2	10	6	8	3	4	2	5	12	11	13	20	23	41	41	37	25	9			294	65	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男	13	1			1	1	2	7	13	10	13	25	19	32	36	71	51	46	23	2				366	69
		女	8			2	8	16	9	13	19	18	14	10	6	11	5	35	40	41	39	14	1			309	66
		計	21	1	2	9	17	11	20	32	28	27	35	25	43	41	106	91	87	62	16	1			675	68	
XV	妊娠、分娩および産じよく<褥>	男						20	92	183	156	43	1												0		
		女						20	92	183	156	43	1												495	33	
		計						20	92	183	156	43	1												495	33	
XVI	周産期に発生した病態	男	60																					60	0		
		女	60																					60	0		
		計	120																					120	0		
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男			1	1	1	1		3			1	1	1	1	1	1							11	41	
		女			1	3	2	1	2	1			2	1	1	1	1	1						13	30		
		計			1	4	3	1	2	4			3	1	1	1	1	2						24	35		
XVIII	症状、徵候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	24	5	3	2	1	1	1			4	2	7	10	6	3	22	19	17	13	1	1		142	58	
		女	18	11	1	1	1	1	1			1	1	4	1	7	4	12	18	20	13	5	1		120	60	
		計	42	16	4	3	1	2	2			1	4	3	11	11	13	7	34	37	37	26	6	2		262	59
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	138	98	40	18	15	20	15	22	28	43	34	37	28	25	23	55	44	52	27	8	1			771	41
		女	67	60	21	4	10	11	12	10	19	15	26	31	38	39	38	92	97	122	86	40	8			846	62
		計	205	158	61	22	25	31	27	32	47	58	60	68	66	64	61	147	141	174	113	48	9			1,617	52
XXI	健康状態に影響をおぼす要因および保健サービスの利用	男								1				2	2	3	3	1	1	3	1	1			13	61	

疾病別・在院日数別患者数(大分類)

ICD	国際分類大項目分類		1-7日	8-14日	15-31日	32-60日	61-90日	91-180日	181日以上	合計	
I	感染症および寄生虫症	男	90	39	19	5	2	1		156	
		女	76	41	11	9		2		139	
		計	166	80	30	14	2	3		295	
II	新生物＜腫瘍＞	男	370	166	158	39	6	2		741	
		女	216	199	72	27	2			516	
		計	586	365	230	66	8	2		1,257	
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	21	23	10	3	2	1		60	
		女	19	15	8	3				45	
		計	40	38	18	6	2	1		105	
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男	32	23	23	8				86	
		女	33	31	16	8				88	
		計	65	54	39	16				174	
V	精神および行動の障害	男			2	1				3	
		女	3	1	3	1				8	
		計	3	1	5	2				11	
VI	神経系の疾患	男	72	27	13	13	2			127	
		女	41	44	15	10	1			111	
		計	113	71	28	23	3			238	
VII	眼および付属器の疾患	男	364	4						368	
		女	488	5						493	
		計	852	9						861	
VIII	耳および乳様突起の疾患	男	69	42	1					112	
		女	94	50		1				145	
		計	163	92	1	1				257	
IX	循環器系の疾患	男	375	204	220	67	14	3		883	
		女	199	176	229	58	10	1		673	
		計	574	380	449	125	24	4		1,556	
X	呼吸器系の疾患	男	375	207	78	33	4			697	
		女	256	141	73	26	3	2		501	
		計	631	348	151	59	7	2		1,198	
XI	消化器系の疾患	男	417	217	85	34	6	1		760	
		女	305	182	80	17		1		585	
		計	722	399	165	51	6	2		1,345	
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男	14	16	7	3	1			41	
		女	10	16	9	1	2			38	
		計	24	32	16	4	3			79	
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男	49	32	35	13	2	1		132	
		女	27	33	83	17	1	1		162	
		計	76	65	118	30	3	2		294	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男	166	91	80	23	5	1		366	
		女	137	75	80	13	3	1		309	
		計	303	166	160	36	8	2		675	
XV	妊娠、分娩および産じよくく ^ス の疾患	男									
		女	374	112	7	2				495	
		計	374	112	7	2				495	
XVI	周産期に発生した病態	男	21	38	1					60	
		女	24	34	2					60	
		計	45	72	3					120	
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男	9		2					11	
		女	12		1					13	
		計	21		3					24	
XVIII	症状、徵候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	80	36	20	5	1			142	
		女	69	28	20	3				120	
		計	149	64	40	8	1			262	
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	534	92	118	24	3			771	
		女	272	382	41	1	147	2	1	846	
		計	916	239	390	65	4	3		1,617	
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	男	8	4	1					13	
		女	1	1	1	1				4	
		計	9	5	2	1				17	
XXII	特殊目的用コード	男	42	80	28	3	1			154	
		女	36	87	25	9	1			158	
		計	78	167	53	12	2			312	
総計		男	901	3,108	274	49	1,341	10		5,683	
		女	1,007	2,802	247	24	1,418	10	1	5,509	
		計	1,908	5,910	521	73	2,759	20	1	11,192	

河北リハビリテーション病院

入院診療実績

	2021年度	2022年度	2023年度
入院患者延数	45,755	41,316	43,751
新入院患者数	712	648	681
1日平均患者数	125.4	113.2	119.5
前年比	100.9%	90.3%	105.9%
診療日数	365日	365日	366日

平均在院日数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
平均在院日数	62.9	64.7	64.2

病床利用率の推移

病棟	2021年度	2022年度	2023年度
2階	92.4%	83.7%	87.5 %
3階	91.9%	86.7%	89.0 %
4階	94.4%	80.9%	89.2 %
計	92.9%	83.8%	88.5 %

外来診療実績

	2021年度	2022年度	2023年度
外来患者延数	※504	649	632
1日平均患者数	1.7	2.2	2.1
前年比	103.1%	128.8%	97.4%
診療日数	294日	294日	294日

※通常の外来患者以外にコロナ検査にて228名受診

リハビリテーション実施件数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
脳 血 管	入院	178,448	148,302
	外 来	206	211
	計	178,654	148,513
廃用症候群等	入院	32,744	34,185
	外 来	0	66
	計	32,744	34,251
運動 器	入院	150,417	113,298
	外 来	0	0
	計	150,417	113,298
合 計	入院	361,609	295,785
	外 来	206	277
	計	361,815	296,062
	月平均	30,151	24,672
	前年比	98.8%	81.8%
			96.5%

STと看護師の共同作業

摂食機能療法	入院	1,513	1,934	1,310
--------	----	-------	-------	-------

臨床検査件数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
一 般	入院	2,624	2,623
	外 来	0	1
	計	2,624	2,666
血 液	入院	17,164	15,625
	外 来	6	33
	計	17,170	15,658
免 疫	入院	2,797	2,672
	外 来	1	6
	計	2,798	2,678
生 化 学	入院	49,428	45,269
	外 来	21	82
	計	49,449	45,351
生理機能	入院	695	647
	外 来	0	0
	計	695	647
合 計	入院	72,708	66,836
	外 来	28	122
	計	72,736	66,958
	月平均	6,061	5,580
	前年比	106.6%	92.1%
			106.1%

画像診断検査件数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
一般撮影	検査件数	3,049	2,722
	月平均	254.1	226.8
	前年比	112.9%	89.3%
造影検査	検査件数	62	62
	月平均	5.2	1.8
	前年比	78.5%	100.0%
C T 検査	検査件数	831	561
	月平均	69.3	37.2
	前年比	149.2%	79.5%

処方箋

	2021年度	2022年度	2023年度
枚 数(枚)	枚数	18,838	15,387
	月平均	1,570	1,282
	前年比	107.4%	81.7%
調剤件数(件)	件数	53,430	48,420
	月平均	4,453	4,035
	前年比	106.0%	90.6%
投薬日数(日)	日数	346,976	317,365
	月平均	28,915	26,447
	前年比	106.9%	91.5%

注射処方箋

	2021年度	2022年度	2023年度
枚 数(枚)	枚数	1,245	1,374
	月平均	104	115
	前年比	150.7%	110.4%
件 数(件)	件数	2,968	2,550
	月平均	247	213
	前年比	154.9%	85.9%
剤 数(個)	日数	4,716	3,694
	月平均	393	308
	前年比	151.2%	78.3%
薬剤管理指導	療養型件数	0	1
	回復型件数	234	1,109
			1,163

栄養指導件数

	2021年度	2022年度	2023年度
病棟訪問	6,911	6,355	6,747
栄養指導(加算のみ)	753	790	815

食数

	2021年度	2022年度	2023年度
総食数	件数 月平均	136,187 11,349	120,454 10,038
特別食	件数 月平均	34,686 2,891	31,396 2,616
一般食	件数 月平均	101,501 8,458	89,208 7,434

医療社会相談支援件数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
入 院	2,216	2,019	2,150
外 来	0	0	7
そ の 他	828	823	830
合 计	3,044	2,842	2,987
月 平 均	253.7	236.8	248.9

疾病別・年齢別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100-105歳	105歳-	合計	平均(歳)			
		男女																											
I	感染症および寄生虫症	男女													1					1						1 1 2	88 58 73		
II	新生物<腫瘍>	男女										1														1 1	48 48		
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男女																		1 1						2 2	81 81		
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男女																2								2 2	72 72		
V	精神および行動の障害	男女																											
VI	神経系の疾患	男女									1		1	1	4	3	2									12 9 21	65 70 68		
VII	眼および付属器の疾患	男女																											
VIII	耳および乳様突起の疾患	男女																											
IX	循環器系の疾患	男女								1		2	6	7	7	11	10	17	20	13	6	2				102 95 197	74 78 76		
X	呼吸器系の疾患	男女										1	2	1	3	3	10	8	14	20	24	7	2				8 7 15	80 82 81	
XI	消化器系の疾患	男女																			1						1 1	88 88	
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男女																	1								1 1	72 72	
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男女													2		2	3	3	1	4	1				16 36 52	64 80 72		
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男女														1		1			1	1					4 1 5	83 74 79	
XV	妊娠、分娩および産じょくく(褥)	男女																											
XVI	周産期に発生した病態	男女																											
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男女								1																	1 1	18 18	
XVIII	症状、徵候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男女																											
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男女									1	1	1	1	6	3	4	9	8	28	21	22	7	3		107 270 377	82 85 84		
XXI	健康状態に影響をおぼす要因および保健サービスの利用	男女										1	1	1	2	8	3	4	26	39	88	100	73	28	3		1 3 4	74 81 78	
総計		男女								3	4	8	16	11	18	28	34	49	40	34	11					256 425	77 82		
		計								1	2	2	3	7	5	17	33	57	94	115	61	24	3					681	80

疾病別・在院日数別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		1-7日	8-14日	15-31日	32-60日	61-90日	91-180日	181日以上	合計
I	感染症および寄生虫症	男女				1	1			1
		計				2				2
II	新生物＜腫瘍＞	男女			1					1
		計			1					1
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男女			1		1			2
		計			1		1			2
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男女				1	1			2
		計				1	1			2
V	精神および行動の障害	男女								
		計								
VI	神経系の疾患	男女			1	4	3	4		12
		計	1		2		3	3		9
			1		3	4	6	7		21
VII	眼および付属器の疾患	男女								
		計								
VIII	耳および乳様突起の疾患	男女								
		計								
IX	循環器系の疾患	男女	3	4	14	28	21	31	1	102
		計	3	5	15	19	23	30		95
			6	9	29	47	44	61	1	197
X	呼吸器系の疾患	男女	1	1		5	1			8
		計	1	1	2	4	1			7
			1	1	2	9	2			15
XI	消化器系の疾患	男女				1				1
		計				1				1
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男女	1							1
		計	1							1
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男女	4	1	3	5	2	1		16
		計	1		10	11	14			36
			5	1	13	16	16	1		52
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男女	1		1	2				4
		計	1		1	2				1
			1		2	2				5
XV	妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	男女								
		計								
XVI	周産期に発生した病態	男女								
		計								
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男女				1				1
		計				1				1
XVIII	症状、徵候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男女								
		計								
XIX	損傷、中毒および その他の外因の影響	男女	10	7	17	34	38	1		107
		計	13	6	43	96	108	4		270
			23	13	60	130	146	5		377
XXI	健康状態に影響をおぼす要因および 保健サービスの利用	男女				1				1
		計				2	1			3
						2	2			4
総計		男女	20	13	37	81	67	37	1	256
		計	18	11	74	134	151	37		425
			38	24	111	215	218	74	1	681

シーダ・ウォーク 利用者数の推移

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度
ロングステイ	32,089	32,618	33,472
ショートステイ	3,603	4,262	5,596
ステイ 計	35,692	36,880	39,068
1日平均	97.8	101.0	106.7
前年比	99.8%	103.3%	105.9%
稼働日数	365日	365日	366日
デイケア	10,636	10,289	10,265
1日平均	34.4	33.4	33.2
前年比	116.9%	96.7%	99.8%
稼働日数	309日	308日	309日

稼働率	ロングステイ	79.9%	89.0%	96.3 %
	ショートステイ	98.7%	97.3%	89.9 %
	ステイ 計	87.3%	90.2%	95.3 %
	デイケア	76.5%	74.2%	73.8 %
平均介護度	ロングステイ	3.2	3.1	3.2
	ショートステイ	3.2	3.3	3.3
	デイケア	2.3	2.4	2.5
平均 数 利用	ロングステイ	336.9日	432.6日	373.6日
	ショートステイ	7.3日	6.8日	6.8日

河北透析クリニック 受診者数の推移

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度
受診者数	29,834	27,881	27,424
月平均	2,486	2,323	2,285
1日平均	94.7	88.8	89.0
前年比	101.2%	93.5%	98.4%
診療日数	315日	314日	308日

河北健診クリニック 受診者数の推移

単位：人

		2021年度	2022年度	2023年度
一泊ドック	受診者延数	—	—	—
	1日平均患者数	—	—	—
	前年比	—	—	—
半日ドック	受診者延数	7,185	7,417	7,646
	1日平均患者数	24.3	25.5	26.1
	前年比	101.2%	103.2%	103.1%
成人・その他	受診者延数	11,924	12,652	14,066
	1日平均患者数	40.3	43.5	48.0
	前年比	101.2%	106.1%	111.2%
再検・精検	受診者延数	573	91	655
	1日平均患者数	1.9	0.3	2.2
	前年比	101.2%	15.9%	719.8%
総受診者数	受診者延数	19,682	20,160	22,367
	1日平均患者数	66.5	69.3	76.3
	前年比	101.2%	102.4%	110.9%
診療日数		296日	291日	293日

河北ファミリークリニック南阿佐谷 利用実績

		2021年度	2022年度	2023年度
訪問診療	訪問回数(回)	4,098	4,507	4,998
	利用者数(人)	2,123	2,317	2,539
外来診療	外来患者延数(人)	34,136	30,988	31,560
	小児予防接種(再掲)	323	310	283
検査科	採血件数(件)	9,228	9,075	9,702
	単純撮影(件)	655	590	652
画像診断科	超音波(件)	486	460	471
	河北訪問看護・リハビリテーション阿佐谷	訪問回数(回)	16,748	17,301
	利用者数(人)	1,930	2,038	1,872

地域包括支援センター 利用実績

単位：件

		2021年度	2022年度	2023年度
ケア24阿佐谷	介護保険(要支援)請求件数	2,524	2,649	2,634
	実態把握件数	838	757	787
	認定調査・その他	70	47	47
	相談受付	20,186	22,206	22,149
ケア24松ノ木	介護保険(要支援)請求件数	2,737	2,704	2,606
	実態把握件数	754	733	761
	認定調査・その他	1	—	—
	相談受付	16,761	13,999	14,241

河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
介護保険請求件数	640	971	1,349
認定調査件数	19	6	15

心のケアセンター

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度	
河北総合病院	自費カウンセリング*	445	458	602
	心理査定	599	580	610
	コンサルテーション(病棟介入含む)	279	288	235
河北リハビリテーション病院	個別介入(家族介入含む)	319	321	301
	コンサルテーション(ラウンド含む)	771	707	429
	集団療法	231	136	177
シーダ・ウォーク	個別介入(家族介入含む)	156	86	118
	コンサルテーション(ラウンド含む)	722	659	647
	集団療法	130	169	185

歯科受診者数 【医療法人社団 利光会 訪問歯科診療部】 単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度
河北総合病院	31	13	17
河北リハビリテーション病院	784	584	558
シーダ・ウォーク	1,204	1,046	1,106
合計	2,019	1,643	1,681
延人数	168.3	136.9	140.1
月平均	168.3	136.9	140.1

施設別稼働状況

単位:人 ※延べ人数

			2021年度	2022年度	2023年度
		入院・入所	2階	14,315	14,117
天本病院	3階	15,211	15,171	14,812	
	4階	16,863	16,236	16,998	
	5階	10,917	11,086	10,799	
	全在院数	57,306	56,610	55,606	
	1日平均	157.0	155.0	151.0	
	入所(合計)	44,072	43,813	44,933	
あい介護老人保健施設	短期(合計)	3,791	3,919	3,043	
	入所+短期(合計)	47,863	47,732	47,976	
	1日平均	131.2	130.8	131.1	
	単月在宅復帰率	66.5%	60.6%	57.6%	
	6ヶ月平均在宅復帰率	65.2%	64.1%	60.5%	
	あいグループホーム	どんぐり	6,518	6,375	6,517
あいグループホーム	天の川	6,499	6,503	6,478	

単位:人 ※実人数

			2021年度	2022年度	2023年度
		外来	保険診療	8,213	9,583
天本病院	健診等	2,747	2,747	1,831	
	あいクリニック	保険診療	20,749	21,056	19,932
あいクリニック中沢	健診等	1,293	1,220	1,201	
	保険診療	3,133	2,939	3,060	
あいクリニック平尾	健診等	130	137	139	
	保険診療	1,065	1,019	775	

単位:人 ※実人数

			2021年度	2022年度	2023年度
		訪問診療	在宅	2,921	3,238
あいクリニック	施設	3,465	3,493	3,947	
	あいクリニック中沢	在宅	1,253	1,160	1,213
あいクリニック平尾	施設	1,205	1,169	1,249	
	在宅	967	956	1,158	
	施設	1,295	1,228	1,075	

単位:人 ※実人数

			2021年度	2022年度	2023年度		
		居宅介護支援事業所	ケアプランセンターあいクリニック	ケアプラン	3,899	4,296	3,798
ケアプランセンターあいクリニック	認定調査	297	334	129			
	ケアプランセンターあいクリニック中沢	ケアプラン	1,468	1,714	2,200		
ケアプランセンターあいクリニック平尾	認定調査	19	47	49			
	ケアプランセンターあいクリニック平尾	ケアプラン	1,820	1,828	1,947		
	認定調査	86	33	45			

単位:件 ※延べ件数

			2021年度	2022年度	2023年度
		訪問看護ステーション	医療保険	4,958	6,016
あい訪問看護ステーション平尾	介護保険	11,226	11,416	12,313	
	自費	29	87	169	
	合計	16,213	17,519	18,386	
	医療保険	2,350	2,758	2,379	
あい訪問看護ステーション中沢	介護保険	7,858	7,938	6,868	
	自費	52	130	158	
	合計	10,260	10,826	9,405	
	医療保険	2,548	3,688	4,576	
あい訪問看護ステーション中沢	介護保険	4,133	5,280	6,096	
	自費	18	20	33	
	合計	6,699	8,988	10,705	
	医療保険	2,548	3,688	4,576	

単位:件

			2021年度	2022年度	2023年度
		天本病院	介護予防(要支援実人数)	564	625
あい介護老人保健施設	介護予防(要介護延件数)	2,451	2,545	2,749	
	要支援実人数	669	794	1,112	
あいクリニック	要介護延件数	10,445	10,378	10,332	
	要支援実人数	760	1,004	796	
あいクリニック	要介護延件数	6,746	7,813	7,892	
	利用者延件数	863	1,057	887	
あいフィットネスサロンさくら	要支援実人数	500	571	820	
	要介護延件数	5,215	4,324	4,352	
	自費	0	0	0	

単位:人

			2021年度	2022年度	2023年度
		あい看護小規模多機能施設ほたる	登録者数	324	317
あい小規模多機能施設かりん	通い	5,169	4,819	4,689	
	訪問(介護)	6,631	7,408	8,823	
	訪問(看護)	668	807	1,043	
	宿泊	1,817	1,877	1,790	
あい小規模多機能施設おきな	登録者数	333	295	331	
	通い	5,516	4,558	4,657	
	訪問	7,622	7,380	10,531	
	宿泊	1,925	1,749	2,064	
あい小規模多機能施設こもれび	登録者数	215	204	220	
	通い	3,119	2,848	2,422	
	訪問	6,841	7,158	6,874	
	宿泊	309	135	221	
あい小規模多機能施設こもれび	登録者数	322	330	328	
	通い	4,961	5,046	5,330	
	訪問	6,074	6,304	6,983	
	宿泊	1,145	1,599	1,978	

天本病院 平均在院日数の推移

単位:日

	2021年度	2022年度	2023年度
2階	43.8	42.8	40.2
3階	63.5	65.1	62.7
4階	1256.6	627.2	973.5
5階	40.0	44.1	48.6

あい介護老人保健施設 利用者数の推移

単位:人

	2021年度	2022年度	2023年度
療養 短期	11,540	12,449	13,051
	1,724	1,403	1,335
在宅 短期	13,264	13,852	14,386
	15,723	14,937	15,829
合計	1,465	1,758	1,068
	17,188	16,695	16,897
認知症 短期	16,809	16,427	16,053
	602	758	640
合計	17,411	17,185	16,693
	44,072	43,813	44,933
入所 合計 短期 合計	3,791	3,919	3,043
	47,863	47,732	47,976
1日平均 短期	120.8	120.1	122.8
	10.4	10.7	8.3
入所+短期 1日平均	131.1	130.8	131.4
前年比(%) 短期	97.2%	99.4%	102.6%
	124.3%	103.4%	77.6%
入所+短期 前年比	98.9%	99.7%	100.5%
稼働日数	365日	365日	366日
デイケア 1日平均 前年比 稼働日数	11,114	11,172	11,444
	43.1	43.3	44.5
	107.9%	100.5%	102.4%
	258日	258日	257日

稼働率	療養	72.7 %	75.9 %	78.6 %
	在宅	94.2 %	91.5 %	92.3 %
	認知症	95.4 %	94.2 %	91.2 %
	計	87.4 %	87.2 %	87.4 %
	デイケア	86.1%	86.8%	89.0%
平均介護度	療養	4.3	4.2	3.6
	在宅	2.7	2.9	2.9
	認知症	3.4	3.4	3.0
	デイケア	2.1	2.1	2.2
平均利用日数	療養	426.0日	273.2日	272.9日
	在宅	487.7日	268.9日	342.8日
	認知症	371.1日	387.3日	316.5日
	計	428.3日	309.8日	310.7日

地域包括支援センター 利用実績

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
包多 括摩市 援中 セ部 タ域 ー	2,548	2,887	2,947
	484	561	593
ケアプラン 委託作成	9,973	9,268	9,009
	703	743	775
	2,355	2,475	2,349

天本病院 疾病別・診療科別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類	内科	合計	
I	感染症および 寄生虫症	男	7	
		女	6	
		計	13	
II	新生物	男	10	
		女	6	
		計	16	
III	血液および造血器 の疾患ならびに 免疫機構の障害	男		
		女	1	
		計	1	
IV	内分泌、栄養 および 代謝疾患	男	10	
		女	17	
		計	27	
V	精神および 行動の障害	男	3	
		女	1	
		計	4	
VI	神経系の疾患	男	13	
		女	11	
		計	24	
VII	眼および 付属器の疾患	男		
		女		
		計		
VIII	耳および 乳様突起の疾患	男	1	
		女	1	
		計	2	
IX	循環器系の疾患	男	55	
		女	76	
		計	131	
X	呼吸器系の疾患	男	36	
		女	56	
		計	92	
XI	消化器系の疾患	男	2	
		女	14	
		計	16	
XII	皮膚および 皮下組織の疾患	男	6	
		女	3	
		計	9	
XIII	筋骨格系および 結合組織の疾患	男	5	
		女	11	
		計	16	
XIV	腎尿路生殖器系の 疾患	男	7	
		女	16	
		計	23	
XV	妊娠、分娩および 産じょく(褥)	男		
		女		
		計		
XVI	周産期に 発生した病態	男		
		女		
		計		
XVII	先天奇形、 変形および 染色体異常	男		
		女		
		計		
XVIII	症状、徵候および異常臨床 所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	4	
		女	3	
		計	7	
XIX	損傷、中毒および その他の外因の影響	男	25	
		女	52	
		計	77	
XXI	健康状態に影響を およぼす要因および 保険サービスの利用	男		
		女		
		計		
XXII	特殊目的	男	16	
		女	29	
		計	45	
総計		男	200	
		女	305	
		計	505	
		男	200	
		女	305	
		計	505	

天本病院 疾病別・年齢別患者数(大分類)

単位:人

ICD	国際分類大項目分類		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100-105歳	105歳-	合計	平均(歳)			
		男女																											
I	感染症および寄生虫症	男女															3	1	1	1	2				7	85			
		計															1	1	1	1	2				6	86			
II	新生物	男女															5	1	2	2					10	78			
		計															1	4	1	2	1	4			6	86			
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男女																								0			
		計																								1	96		
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男女															1	1	1	2	3	2			10	82			
		計															1	3	3	5	2	2	1		17	86			
V	精神および行動の障害	男女															1	1	2	3	5	8	4	2	1	27	84		
		計																								3	89		
VI	神経系の疾患	男女																3		4	3	3				13	83		
		計															3	2	3	2	1				11	85			
VII	眼および付属器の疾患	男女																											
		計																											
VIII	耳および乳様突起の疾患	男女																								1	89		
		計																								1	80		
IX	循環器系の疾患	男女															3	8	11	15	10	6	2			55	80		
		計															1	3	18	19	23	11	1			76	88		
X	呼吸器系の疾患	男女															3	9	14	33	29	29	13	1			131	84	
		計															1	3	6	9	8	8	1			36	83		
XI	消化器系の疾患	男女															1			1					2	81			
		計															1		2	5	3	1	2		14	89			
XII	皮膚および皮下組織の疾患	男女															2		2	1	1				6	83			
		計															1	1	1	1					3	87			
XIII	筋骨格系および結合組織の疾患	男女															1		3	1					5	88			
		計															1	4	3	3					11	85			
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	男女															1		5	6	4				16	86			
		計															2	1	2	3	6	3			23	86			
XV	妊娠、分娩および産じよくく ^褥	男女															1	2	1	3	4	8	4						
		計															2	6	3	1	2								
XVI	周産期に発生した病態	男女																											
		計																											
XVII	先天奇形、変形および染色体異常	男女																											
		計																											
XVIII	症状、徵候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男女															1		1	2	1	1	1		4	90			
		計															1	1	1	2	1	1	1		3	89			
XIX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男女															1		2	2	5	8	6	1		25	84		
		計															4	10	17	15	5	5			52	87			
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因および保険サービスの利用	男女															1		2	2	6	15	25	21	6		77	86	
		計															1	1	1	1	1	1	1			2	80		
XXII	特殊目的	男女															2		2	1	2	8	11	15	3		16	84	
		計															3	2	4	6	11	15	3			1	29	86	
総計		男女															2	6	25	28	47	45	38	9		200	79		
		計															1	2	2	8	23	52	89	84	37	6	1	305	87

財団概要

法人名称	社会医療法人 河北医療財団		
理事長	河北 博文		
財団施設	河北総合病院	院長	鎌田 孝一
	河北透析クリニック	院長	青木 尚子
	河北健診クリニック	院長	金澤 實
	河北リハビリテーション病院	院長	宮村 紘平
	河北総合病院 分院	院長	浅妻 直樹
	河北サテライト クリニック	院長	中島 富美子
	介護老人保健施設 シーダ・ウォーク	施設長	吉田 晴彦
	河北ファミリークリニック南阿佐谷	院長	塩田 正喜
	あい介護老人保健施設	施設長	明石 のぞみ
	天本病院	院長	及能 克宏
	あいクリニック	院長	濱谷 弘康
	あいクリニック平尾	院長	奥村 光絵
	あいクリニック中沢	院長	佐藤 清貴
財団職員総数	2,824人:内常勤職員数 1,969人(杉並事業部1,457人・多摩事業部512人) (内訳:常勤)医師174人、看護師696人、セラピスト266人		
設立	1928年(昭和3年)5月 私立河北病院開設 1950年(昭和25年)12月 医療法人財団河北病院認可 2010年(平成22年)10月 社会医療法人 河北医療財団認定 2016年(平成28年)12月 医療法人財団天翁会と合併		
特長	○1998年(平成10年)5月 環境マネジメントシステムISO14001認証 ○KES・環境マネジメントシステム・スタンダードステップ2 2008年(平成20年)1月より継続更新中		

2024年6月現在

各施設概要

2024年6月現在

施設基準情報等は
QRコードからホー
ムページをご確認
ください。

● 河北総合病院

《所在地》 〒166-8588 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3 TEL:03-3339-2121

《創立》 1928年5月

《許可病床数》 一般病床 331床

《標榜科目》 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、リウマチ科、リハビリテーション科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科、皮膚科、放射線科、麻酔科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、消化器外科、病理診断科、臨床検査科、救急科、感染症内科、血液内科、疼痛緩和内科、精神科、産科、婦人科、血管外科、形成外科、美容外科、乳腺外科、小児アレルギー科、脳神経内科、頭頸部外科

《特長》 日本医療機能評価機構認定(一般病院) 1998年、3rdG:Ver.2.0 2019年



● 河北総合病院 分院

《所在地》 〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-6-20 TEL:03-3339-0606

《開設》 2004年3月

《許可病床数》 一般病床 76床

《標榜科目》 内科、皮膚科、精神科、リハビリテーション科、放射線科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、感染症内科、血液内科、リウマチ科、アレルギー科、脳神経内科



● 河北サテライト クリニック

《所在地》 〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 TEL:03-3339-0808

《開設》 2004年3月

《標榜科目》 眼科、皮膚科



● 河北リハビリテーション病院

《所在地》 〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内1-9-27 TEL:03-5307-5151

《開設》 2001年2月

《許可病床数》 療養病床 135床

《標榜科目》 内科、精神科、リハビリテーション科



● 河北透析クリニック

《所在地》 〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-18-9 TEL:03-3336-2500

《開設》 2018年3月(河北董クリニック 1992年11月)

《ベッド数》 58床(内、隔離対応可2床)1階:準個室12床 2階:パーテーションあり24床・なし20床

《標榜科目》 内科



● 河北健診クリニック

《所在地》 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-27-12 TEL:03-5377-2811

《開設》 1990年6月

《標榜科目》 内科



● 河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

《所在地》 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYAビル6F TEL:03-5913-7038

《開設》 2020年12月

《事業内容》 介護支援専門員による総合相談、ケアプラン作成、介護保険に関する各種申請代行など



施設基準情報等は
QRコードからホー
ムページをご確認
ください。

● 河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷

《所在地》 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYAビル6F TEL:03-5913-7977

《開設》 1994年2月

《事業内容》 指定訪問看護事業所、指定介護予防訪問看護事業所



● 河北ファミリークリニック南阿佐谷

《所在地》 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYAビル3・4・5F TEL:03-5356-7160

《開設》 2019年3月

《標榜科目》 内科、小児科



● 介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

《所在地》 〒167-0034 東京都杉並区桃井3-4-9 TEL:03-5311-6262

《開設》 2004年10月

《入所定員》 112床

《事業内容》 介護保険サービスにおける介護保険施設サービス(介護予防)短期入所療養介護112床(全室個室)、
介護保険サービスにおける(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)45名／日



● 天本病院

《所在地》 〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-1 TEL:042-310-0333

《創立》 2005年6月

《許可病床数》 179床(一般病床131床・療養病床 48床)

《標榜科目》 内科・消化器内科・神経内科・リハビリテーション科・精神科・老年精神科



● あいクリニック

《所在地》 〒206-0012 東京都多摩市貝取1431-3 TEL:042-375-9581

《開設》 1999年4月

《標榜科目》 訪問診療/一般内科 外来診療/内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、整形外科



● あいクリニック平尾

《所在地》 〒206-0823 東京都稲城市平尾3-7-4 コーシャハイム平尾1F TEL:042-350-5062

《開設》 2007年4月

《標榜科目》 訪問診療/一般内科 外来診療/内科、精神科



● あいクリニック中沢

《所在地》 〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢A棟1F TEL:042-311-2820

《開設》 2013年8月

《標榜科目》 訪問診療/一般内科 外来診療/内科



● あい介護老人保健施設

《所在地》 〒206-0036 東京都多摩市中沢1-17-38 TEL:042-374-7111

《開設》 2001年11月

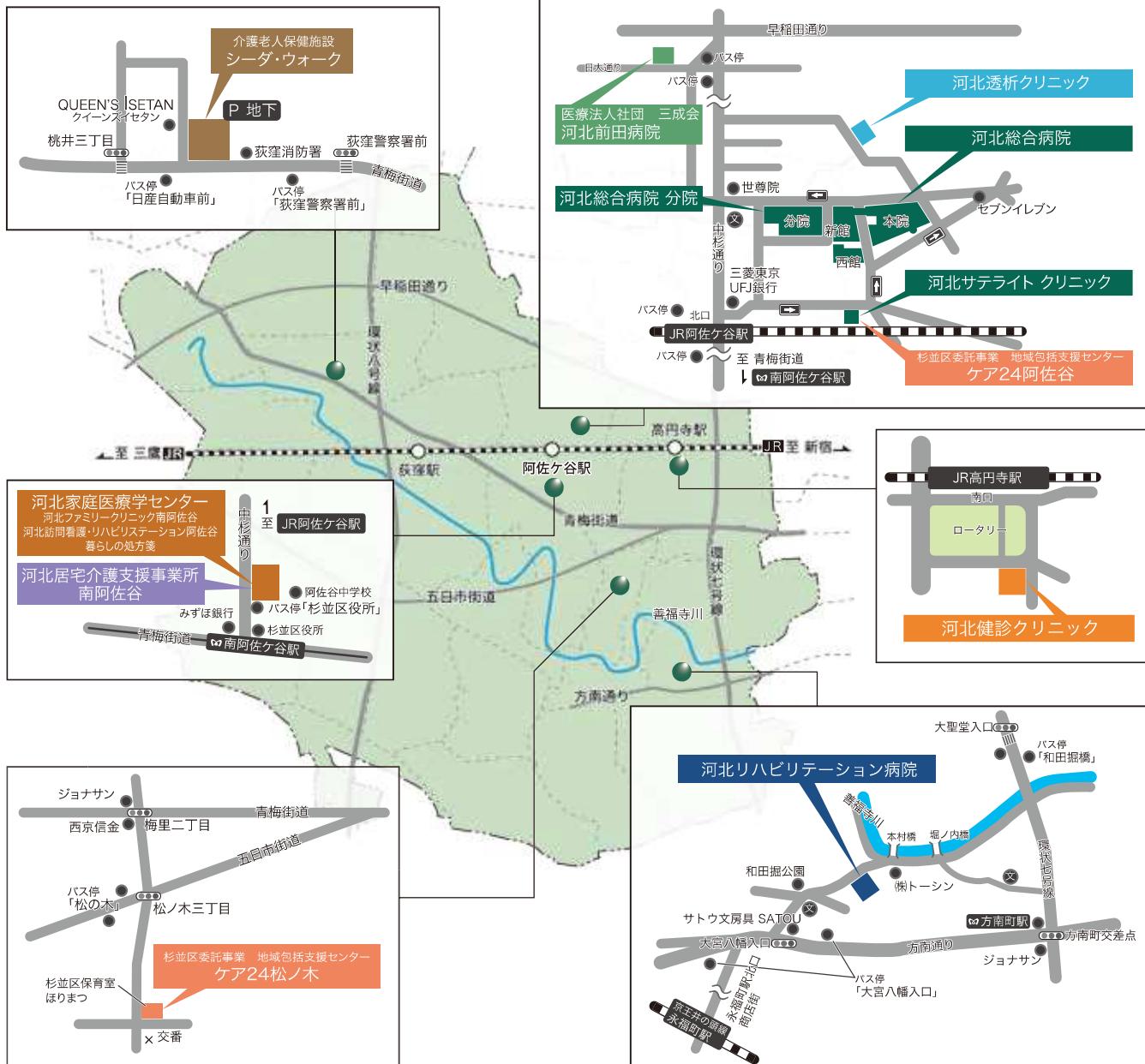
《許可病床数》 150床

《事業内容》 介護保険サービスにおける介護保険施設サービス(介護予防)短期入所療養介護8床、
介護保険サービスにおける(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)50名／日



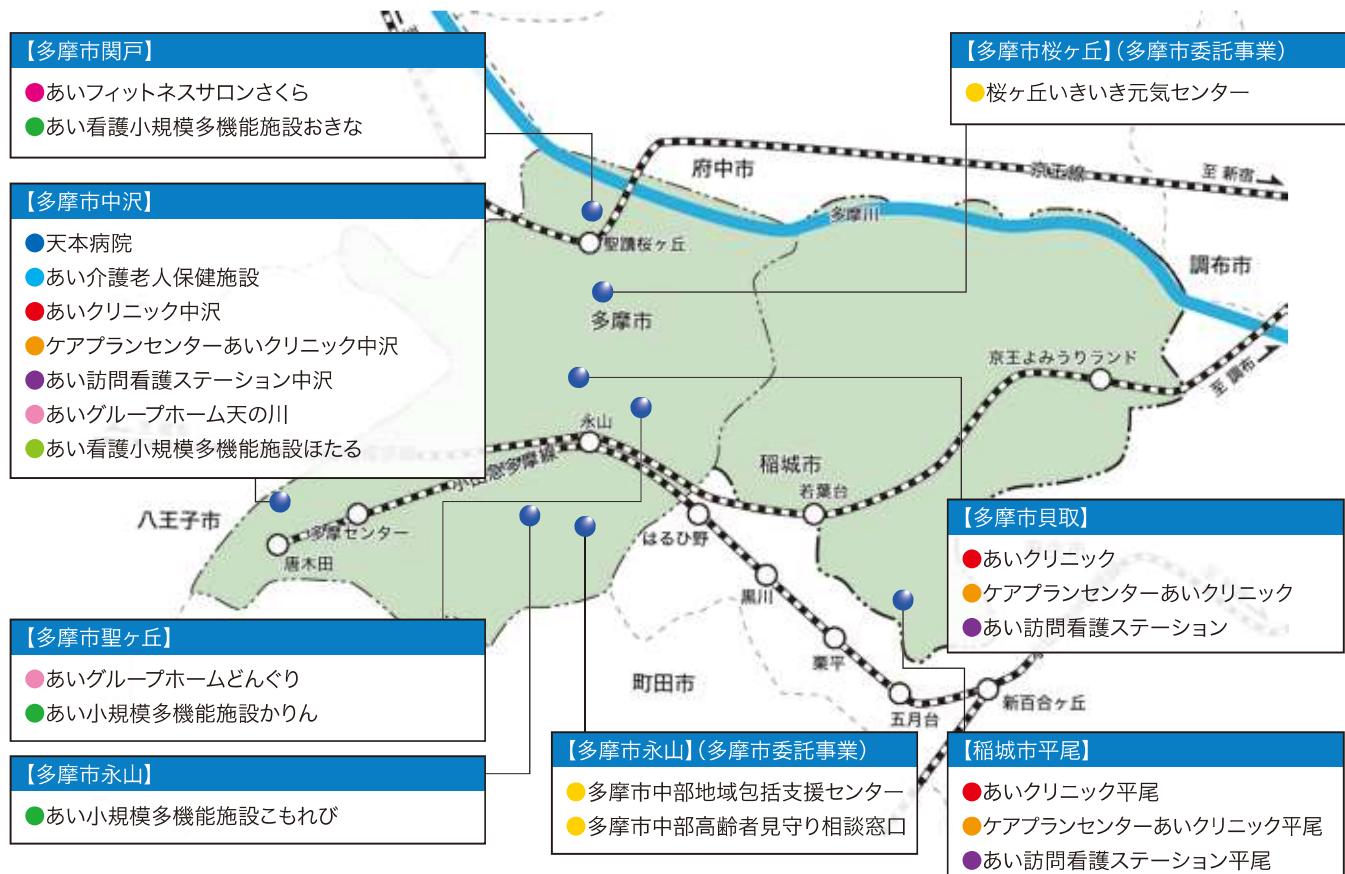
施設・事業所案内地図／連絡先一覧

杉並エリア



河北総合病院	〒166-8588 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3 TEL.03-3339-2121
河北総合病院 分院	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-6-20 TEL.03-3339-0606
河北サテライトクリニック	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 TEL.03-3339-0808
河北リハビリテーション病院	〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内1-9-27 TEL.03-5307-5151
介護老人保健施設 シーダ・ウォーク	〒167-0034 東京都杉並区桃井3-4-9 TEL.03-5311-6262
河北健診クリニック	〒166-0003 東京都杉並区高円寺4-27-12 三井住友銀行高円寺ビル5階(受付) TEL.03-5377-2511(予約) 03-5377-2811(代表)
河北透析クリニック	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-18-9 TEL.03-3336-2500

河北家庭医療学センター	〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYA
河北ファミリークリニック南阿佐谷	TEL.03-5913-7974(6階)
河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷	TEL.03-5356-7160(3~5階)
墓らしの処方箋	TEL.03-5913-7977(6階)
TEL.03-5913-9214(8階)	
河北居宅介護支援事業所	〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYA(6階)
南阿佐谷	TEL.03-5913-7038
【 杉並区委託事業 】	
地域包括支援センター ケア24阿佐谷	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 櫻ビルディングB館1階 TEL.03-3339-1588
地域包括支援センター ケア24松ノ木	〒166-0014 東京都杉並区松ノ木3-3-4 TEL.03-3318-8530
【 提携施設 】	
医療法人社団 三成会 河北前田病院	〒167-0031 東京都杉並区本天沼1-2-1 TEL.03-3330-0384



【多摩市中沢】	
●天本病院	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-1 TEL.042-310-0333
●あい介護老人保健施設	〒206-0036 東京都多摩市中沢1-17-38 TEL.042-374-7111
●あいクリニック中沢	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢A棟1階
●ケアプランセンター あいクリニック中沢	TEL.●042-311-2820
●あい訪問看護ステーション 中沢	●042-311-0933 ●042-311-2822
●あいグループホーム天の川	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢B棟2階 TEL.042-311-0176
●あい看護小規模多機能施設 ほたる	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢B棟3階 TEL.042-357-1870

【多摩市関戸】	
●あいフィットネスサロン さくら	〒206-0011 東京都多摩市関戸1-2-11 スマイラス聖蹟桜ヶ丘1階
●あい看護小規模多機能施設 おきな	TEL.●042-311-5445 ●042-311-5447

【多摩市桜ヶ丘】(多部委託事業)	
●桜ヶ丘いきいき 元気センター	〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘2-1-1 TEL.042-311-7300

【多摩市見取】	
●あいクリニック	〒206-0012 東京都多摩市見取1431-3 あい在宅複合施設
●ケアプランセンター あいクリニック	TEL.●042-375-9581 ●042-375-9598
●あい訪問看護ステーション	●042-371-6888

【稻城市平尾】	
●あいクリニック平尾	〒206-0823 東京都稻城市平尾3-7-4 コーシャハイム平尾1階
●ケアプランセンター あいクリニック平尾	TEL.●042-350-5062 ●042-318-1826
●あい訪問看護ステーション 平尾	●042-350-8615

【多摩市聖ヶ丘】	
●あいグループホーム どんぐり	〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘2-21-2 ゆいま～る聖ヶ丘C棟1階 TEL.042-357-3801
●あい小規模多機能施設 かりん	〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘2-20-6 ゆいま～る聖ヶ丘B棟1階 TEL.042-357-4101

【多摩市永山】	
(多部委託事業) ●多摩市中部地域 包括支援センター	〒206-0025 東京都多摩市永山4-2-5-105 TEL.042-375-0017
●多摩市中部高齢者 見守り相談窓口	TEL.042-357-8877
●あい小規模多機能施設 こもれび	〒206-0025 東京都多摩市永山3-12-1 多摩市西永山福祉施設 TEL.042-400-1071

学会・論文発表

■所属／氏名／学会名・媒体名／題目

2023年 4月	■腎臓内科／松本拓実、岡井隆広／第67回日本リウマチ学会総会・学術集会／当院におけるDifficult-to-treat RA(D2TRA)患者の特徴 ■消化器外科／園田寛道、松田明久、山田岳史、進士誠一、代永和秀、岩井拓磨、武田幸樹、上田康二、栗山翔、宮坂俊光、香中伸太郎、吉田寛／第123回日本外科学会定期学術集会／直腸癌術前治療選択に際しての腫瘍組織を用いたRAS遺伝子変異検索の重要性
5月	■糖尿病・内分泌代謝内科／樋口誠一、秋山義隆、吉田勢津子／第66回日本糖尿病学会年次学術集会／インスリングラルギン/リキシセナチド配合剤の有用性の検討 ■整形外科／福里晋、湯浅崇仁、小林光太、鎌田孝一／第96回日本整形外科学会学術総会／抗凝固薬、抗血小板薬内服患者の大腿骨近位部骨折に対する早期手術の検討 ■河北ファミリークリニック南阿佐谷／山下洋充、西村健二、矢作栄一郎、宮川修平、久保田希、塙田正喜／第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会／二次予防のためのLDLコレステロール管理目標達成度と患者・医師の性別との関連：横断研究 ■乳腺外科／安田秀光／第50回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会／質的乳房超音波診断のすすめ ■耳鼻咽喉科・頭頸部外科／篠原宏、清水啓成、高田由香、菱村祐介、齋藤優仁／第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会／東京タワーに登って生じた11歳女児の外リンパ瘘症例 ■腎臓内科／種村光、横山陽一、鳴海茜、岩淵英美、銭谷慕子、須藤裕嗣、根岸康介、岡井隆広、林松彦／第686回日本内科学会関東地方会／活性型ビタミンD3製剤、酸化マグネシウム製剤内服により、ミルクアーリカリ症候群と急性腎障害を来たした症例の検討 ■脳神経内科／荒木学／第64回日本神経学会学術大会／二次進行型多発性硬化症における重症度と関連する臨床的特徴
6月	■糖尿病・内分泌代謝内科／樋口誠一、秋山義隆、吉田勢津子／第96回日本内分泌学会学術総会／甲状腺穿刺後に甲状腺機能亢進症を来たした一例 ■消化器内科／原田奈尚、島田高幸、他／第116回日本消化器内視鏡学会関東支部例会／成人特発性腸重積症に対して内視鏡的整復が有効であった一例 ■腎臓内科／岩淵英美、根岸康介、宮沢光太郎、横山陽一、銭谷慕子、須藤裕嗣、岡井隆広、林松彦／第68回日本透析医学会学術集会・総会／当院で経験した超高齢者のANCA関連血管炎の背景、予後についての検討 ■脳梗塞科／宮沢光太郎、横山陽一、銭谷慕子、須藤裕嗣、青木尚子、根岸康介、岡井隆広、林松彦／第68回日本透析医学会学術集会・総会／血液透析患者におけるテソスマブの有効性に影響を与える要因の検討 ■脳卒会学科／松野俊彦、小幡亜妃、荻原由貴、田中正樹、井浦真澄、根岸康介、銭谷慕子、岡井隆広、石原龍馬／第68回日本透析医学会学術集会・総会／ノリアドレナリンを併用したレオカーナの施行経験 ■消化器外科／園田寛道、山田岳史、佐原知子、平岡さゆり、石田秀行／第29回日本遺伝性腫瘍学会学術集会／当院における遺伝性腫瘍のサーベイランスの現状と課題 ■河北リハビリテーション病院ソーシャルワーク科／土山綾・中野彩・林未来・井上歩／第71回 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会／部門内研修におけるナラティブ・トレーニング導入とその意義-ニーズ多様性時代の支援者支援- ■あい介護老人保健施設 リハビリテーション科・ディケア科／新井慎／第24回日本言語聴覚学会／右下同名性四分盲と失語症を呈したものの自動車運転再開に至った一例 ■あいクリニック／栗林泰子／第5回日本在宅医療連合学会大会／病院医師の知らない在宅医療 ■あいクリニック／栗林泰子／第28回日本緩和医療学会学術大会／血液疾患の看取りの場所を考える:コロナ禍前後の終末期療養先の比較と早期チーム介入や二人主治医制の試み ■あい介護老人保健施設リハビリテーション科・ディケア科／新井慎／言語聴覚研究 20巻2号 P106-114 / COVID-19流行が食事嚥下リハビリテーションに与えた影響 -東京都内の言語聴覚士を対象としたアンケート調査-
7月	■看護統括部／後藤順一／第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会／パネルディスカッション ICU-病棟へ Critical Care Outreach Systemの導入に向けて ■循環器内科／片野皓介／第69回日本不整脈心電学会学術集会／Impact of ILR on the Opening of Syncope Clinic ■消化器外科／園田寛道、山田岳史、松田明久、進士誠一、岩井拓磨、武田幸樹、栗山翔、宮坂俊光、香中伸太郎、吉田寛／第78回日本消化器外科学会総会／当科におけるASA-3大腸癌患者の治療成績と予後予測因子の検討 ■あい介護老人保健施設 ディケア科／田中匠作／第46回全国ディ・ケア研究大会2023in八王子／ディケアのピアサポートとしての有効性 ■あいクリニック ディケア科／圓城寺健太／第46回全国ディ・ケア研究大会2023in八王子／退院後まもない利用者に対し、在宅生活の継続に向けて多職種で介入した1症例 ■循環器内科／片野皓介／第13回失神研究会／当院失神外来における患者背景と課題 ■河北ファミリークリニック南阿佐谷／山下洋充／第36回日本小児救急医学会学術集会／特別企画 みんなちがって、みんないい！各々が輝ける職場をめざして ■循環器内科／片野皓介／第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会／The impact of surgical treatment with endovascular therapy (hybrid therapy) for acute limb ischemia ■救急集中治療科／竹内一貴、嶋崎陽平、原島健也、瀬之口真美、内野正人／第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会／二次救急指定病院に勤務する救命士の展望
8月	■消化器外科／Sonoda H, Yamada T, Yamaguchi T, Eguchi H, Okazaki Y, Yoshida H, Ishida H, Jpn J Clin Oncol. 2023 Aug 30;53(9):866-869. /A case of attenuated familial adenomatous polyposis in which genetic testing revealed that the children were asymptomatic gene carriers ■消化器外科／Sonoda H, Yamada T, Matsuda A, Yokoyama Y, Ohta R, Shinji S, Yonaga K, Iwai T, Takeda K, Ueda K, Kuriyama S, Miyasaka T, Kanaka S, Taniai N, Yoshida H, Surg Today. 2023 Aug;53(8):890-898. /The T-CEA score: a useful prognostic indicator based on postoperative CEA and pathological T4 levels for patients with stage II-III colorectal cancer
9月	■河北健診クリニック／倉門佳代、八木恵里圭／第64回日本人間ドック学会学術大会／前進する特定保健指導変革の2年間 ～利用しやすい体制と環境へ～ ■河北健診クリニック／佐嶋摩由子、鵜野澤千恵、佐藤ゆかり、大倉彩子、木村桂、小椋真佐子、倉門佳代、五十嵐一光、金澤實／第64回日本人間ドック学会学術大会／がん検診の個別化と精度向上に向けた取り組み—DX推進による新たな健診の価値提供— ■看護統括部／小林智美、柴田千佳子、森内陽子、鈴木真美／第25回日本褥瘡学会学術集会／当院における褥瘡リンクナース活動の実際と今後の課題 ■あい介護老人保健施設 リハビリテーション科・ディケア科／新井慎／第29回日本食事嚥下リハビリテーション学会学術大会／口腔ケア自立者の口腔衛生状態は良好に保持できているのか—BDR 指標を用いた後方視点的検討— ■耳鼻咽喉科・頭頸部外科／中川元、篠原宏、清水啓成／第36回日本口腔・咽頭科学会総会／喉頭内視鏡の食道内挿入の試み ■腎臓内科／銭谷慕子、池井浩之、宮沢光太郎、横山陽一、須藤裕嗣、根岸康介、林松彦、岡井隆広、松本拓実、浅妻直樹、大出手慶、町並陸生、本田一穂、正木康史／第53回日本腎臓学会東部学術大会／特発性多中心性 Castleman 病を合併し、急性発症のステロイド 感受性ネフローゼを呈した糖尿病性腎症の一例 ■腎臓内科／宮沢光太郎、池井浩之、横山陽一、銭谷慕子、青木尚子、須藤裕嗣、根岸康介、岡井隆広、林松彦／第53回日本腎臓学会東部学術大会／吸収不良症候群に伴うビタミン D 欠乏性骨軟化症による高尿低 カルシウム、低リン血症の一例 ■救急集中治療科／嶋崎陽平、原島健也、瀬之口真美、竹内一貴、内野正人／第73回日本病院学会／病院救命士による救急外来災害時初動対応の取り組みについて ■産婦人科／鈴木夏生、古川誠志、秦麻理、高宮万莉、大野珠美、大橋昌尚、上原ゆり子、山田陽子、三島みさ子／日本周産期新生児医学会雑誌. 59(2):206-211 (2023) /オミクロン株流行期における新型コロナウイルスワクチンの妊娠に対する感染予防効果
10月	■救急集中治療科／原島健也、嶋崎陽平、瀬之口真美、竹内一貴、内野正人／第 64回全日本病院学会 in 広島／当院における病院救急車の安全な運用への取り組み ■看護統括部／古藤直子、飯塚洋、栗岡初妃／第64回全日本病院学会 in 広島／成人の一般病棟以外の部署に配属された新人看護職員の到達目標保管研修の取り組み ■看護統括部／石井由美子、磯野三和、下山敏江／第64回全日本病院学会 in 広島／外来患者を対象とするACPの導入と成果～受け持ち制とACP係の配置～ ■脳神経外科／齋藤浩史／第82回日本脳神経外科学会学術総会／Twist drillを使用した慢性硬膜下血腫の治療は低侵襲で安全な治療法である。 ■河北ファミリークリニック南阿佐谷／山下洋充／WONCA World Conference2023/Gay men's health workshop ■天本病院 回復期リハビリテーション科／金丸翔平／リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島2023／回復期リハビリと在宅リハビリとのコンサルト連携～病院・在宅の視点を取り入れた退院支援の実現～ ■あい訪問看護ステーション／岸野美由紀／第48回日本重症心身障害学会学術集会／医療的ケアがある在宅重症心身障害児(者)の訪問看護師と訪問介護員との協働支援 ■整形外科／湯浅崇仁、今野雄太／第50回日本股関節学会学術集会／人工股関節全置換術患者の術後早期回復の取り組み ■脳神経内科／荒木学／Neurology - Neuroimmunology Neuroinflammation / Long-term Effects of IL-6 Receptor Blockade Therapy on Regulatory Lymphocytes and Neutrophils in Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder
11月	■河北リハビリテーション病院医局／池田沙綾、宮村紘平／第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会／くも膜下出血後の重度四肢症候群患者に対しBoNT-AとITB療法を至適時期に併用し著効した一例 ■河北リハビリテーション病院セラピードクター／福島早織(その他3名)／第57回日本作業療法学会／中年期の男性が日常生活において楽しみを感じる作業 ■消化器外科／田村徳康、中西彬人、梅谷直亨、園田寛道／第78回日本大腸肛門病学会学術集会／術前診断に難済した Appendiceal goblet cell adenocarcinoma(GCA) の 1 例

11月

- 消化器外科／中西彬人、田村徳康、箱崎智樹、代永和秀、植木優果、町並隆生、大井出慶、阿美克典、原田聰子、梅谷直亨、園田寛道／第78回日本大腸肛門病学会学術集会／術前診断が困難であった虫垂神経腫の2例
- 消化器外科／梅谷直亨、田村徳康、代永和秀、箱崎智樹、中西彬人、園田寛道／第78回日本大腸肛門病学会学術集会／95歳以上の直腸脱7例に対する腹腔鏡下直腸吊り上げ固定術の短期成績
- 消化器外科／園田寛道、山田岳史、太田竜、上原圭、松田明久、進士誠一、高橋吾郎、横山康行、岩井拓磨、武田幸樹、栗山翔、宮坂俊光、香中伸太郎、吉田寛／第78回日本大腸肛門病学会学術集会／高度肥満大腸癌患者の術後合併症軽減に向けた術前減量の取り組み
- 看護統括部／松本奈央、藤田基、鎌田健太郎、深谷純子／第36回日本総合病院精神医学会総会／総合病院一般小児科病棟に緊急入院した摂食障害重症例をリエゾンチームで支えた経験
- あい介護老人保健施設 介護科／認知症専門ユニット係／細谷直輝／第34回全国介護老人保健施設大会 宮城／外国人技能実習生の受け入れを振り返って
- あい介護老人保健施設 リハビリテーション科／門脇遼／第34回全国介護老人保健施設大会 宮城／当施設における終末期リハビリテーションとその課題
- 脳神経外科／齋藤浩史／第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会／破裂脳動脈瘤急性期にNeuroform Atlasステントを併用したコイル塞栓術の治療成績
- 河北リハビリテーション病院セラピー部／鎌倉宗史／第44回バイオメカニズム学術講演会／起立しやすい便器・便座周辺設定の検討-脊柱後弯変形を呈した高齢者を対象として-
- 循環器内科／片野皓介／第51回日本救急医学会総会・学術集会／一過性意識消失を再考する～これって失神？それともてんかん？～

12月

- 心のケアセンター／木宮誠則／第23回日本認知療法・認知行動療法学会／総合病院の入院患者に対する退院後の復職支援におけるACTの有効性について
- 乳腺外科／小倉司、安田秀光、安藤美知子、松本華英、川名展弘、大井手慶、町並隆生、坂谷貴司／第19回日本乳癌学会関東地方会／残存乳房再発の同側乳房の線維腺腫内に発生した浸潤性小葉癌の1例
- 臨床検査科／栗原いづみ、柴崎恵美、高野小百合、末永晴香／第18回東京都医学検査学会／Heartnote®を用いた7日間心電図検査運用報告
- 消化器外科／梅谷直亨、田村徳康、箱崎智樹、代永和秀、園田寛道／第36回日本内視鏡外科学会総会／90歳以上の超高齢直腸脱31例に対する腹腔鏡下直腸吊り上げ固定術
- 河北リハビリテーション病院セラピー部／栗原 直己／第58回日本理学療法学術大会・第12回日本理学療法教育学会学術大会／当院、理学療法士の小規模集団におけるチームマネジメントに関するチーム内調査
- 消化器外科／園田寛道、梅谷直亨、代永和秀、田村徳康、箱崎智樹、中西彬人、植木優果／第36回日本外科感染症学会総会学術集会／90歳以上の超高齢者に対する緊急手術症例の実際
- 腎臓内科／秋山優弥、松本拓実、岡井隆広／第33回日本リウマチ学会関東支部学術集会／トシリスマ投与中の関節リウマチ患者に発生した古典的ホジキンリンパ腫増殖性疾患の一例
- あい介護老人保健施設 リハビリテーション科・デイケア科／新井慎／第7回日本安全運転医療学会学術集会／視野補償動作定着後に自動車運転再開に至った右下同名性四分盲の一例

2024年
1月

- 河北総合病院リハビリテーション科／田倉未遥／東京都理学療法士協会 区西南部・区西部ブロック学術集会／ACS後に人工呼吸器管理下となった患者に対して他職種連携ではかれた症例
- 河北総合病院リハビリテーション科／川合紗夢／東京都理学療法士協会 区西南部・区西部ブロック学術集会／股関節マラライメントによりTHA術後に弾発股が出現した症例
- 栄養科／尾形のぞみ他／第27回日本病態栄養学会年次学術集会／早期栄養介入管理加算算定患者における栄養指導の必要性
- 河北ファミリークリニック南ア佐谷／久保田希、山下洋充／第17回日本性差医学会・医療学会学術集会／すべての人が過ごしやすい医療機関にするために～LGBTQの視点からできること～
- 乳腺外科／安田秀光／乳腺甲状腺超音波医学 13 (1) 46-48, 2024／質的乳房超音波診断のすすめ
- 産婦人科／鈴木夏生、古川誠志、安達卓哉、藤田侑里、大野珠美、大橋昌尚、上原ゆり子、山田陽子／東京産科婦人科学会会誌、73 (1):14-19(2024)／都内中規模病院で経験した新型コロナウイルス感染妊娠の背景
- 産婦人科／鈴木夏生、上原ゆり子、安達卓哉、藤田侑里、大野珠美、大橋昌尚、山田陽子、古川誠志、三島みさ子／東京産科婦人科学会会誌、73 (1):63-67(2024)／黄体化過剰反応を合併した臨床的侵入奇胎の1例

2月

- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科／齋藤優仁、篠原宏、清水啓成／第33回日本頭頸部外科学会総会／中鼻甲介蜂巣による鼻粘膜接触点頭痛症例
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科／酒井杏奈／第33回日本頭頸部外科学会総会／咽後膿瘍が疑われた石灰沈着性頸長筋腱炎の一例
- 消化器内視鏡診断・治療科／鷲谷華蓮、谷道清隆、山下浩子2月4日／第45回東京消化器内視鏡技師研究会／「急変時対応について」～訓練後の心境と行動の変化～
- 循環器内科／片野皓介／日本不整脈心電学会第16回植込み型リードレス開通冬季大会／植込み型リードレス開通冬季大会／当院失神外来における患者のILR留置に関する因子について
- 循環器内科／片野皓介／日本不整脈心電学会第16回植込み型リードレス開通冬季大会／当院失神外来における患者のILR留置に関する因子について
- 腎臓内科／小倉司、宮沢光太郎、横山陽一、錢谷慕子、須藤裕嗣、根岸康介、岡井隆広、林松彦／日本内科学会第693回関東地方会／急性腎障害を来たビゲアナイト系糖尿病薬内服患者が乳酸アシドーシスとなり集中治療により救命した1例
- 循環器内科／三上朝賀／日本循環器学会第271回関東甲信越地方会／メサラジンによる薬剤性心筋炎をきたした1例
- 整形外科／大森弘貴、湯浅崇仁／第54回日本人工関節学会／Direct anterior approachによる両側同時人工股関節全置換術の臨床成績
- 看護統括部／古藤直子山本陽子 氷池京子／第18回東京都病院学会／KNS新人看護職員研修 集合研修「学習テーマ」選定の考察
- 看護統括部／松本奈央、八木裕実子、島千春、杉浦優美、吉田千寿、新井詩子、田村美樹／第18回東京都病院学会／周術期患者の混乱低減に向けた多職種連携の実践報告
- 看護統括部／小林智美、野崎房代、河村葉子／第18回東京都病院学会／看護師の特定行為実践とタスクシェアに関する報告
- 看護統括部／楠田由美、西本夏子、隅倉珠恵／第18回東京都病院学会／カテーテース育成プログラム再編成と部署間連携における体制作り
- 看護統括部／岩岡文絵／第18回東京都病院学会／産後ケア入院の現状と病棟管理者の視点からみた今後の課題
- 看護統括部／野崎房代／第18回東京都病院学会／当院における糖尿病看護外来の開設と現状
- 看護統括部／半澤佳子、引間裕子、石井由美子／第18回東京都病院学会／外来での多職種協働による減災対策訓練実践報告
- 臨床検査科／木村賢、高演秀弘、末永晴香／第18回東京都病院学会／血液ガス装置変更に伴う業務改善
- 薬剤科／島千春、大野遵、比留間恵美、肥後礼子、齋藤千恵、吉田千寿／第18回東京都病院学会／中規模病院での術後疼痛管理：自走するチームへ
- 薬剤科／杉浦優美、島千春、松本奈央、藤田基／第18回東京都病院学会／向精神薬の周術期の服用について
- 救急集中治療科／嶋崎陽平、原島健也、瀬之口真美、竹内一貴、内野正人／第18回東京都病院学会／地域医療支援病院における病院救急車の実績と効果
- 心のケアセンター／細貝由紀子／第18回東京都病院学会／リハビリテーション病院におけるリエゾンチームの現状と課題
- 天本病院 看護介護部4階病棟／石川祥子、山下龍平／第18回東京都病院学会／消毒用アルコール剤の使用量の変化について
- 天本病院 回復期リハビリテーション科／演邊亞里華、橋山真人／第18回東京都病院学会／回復期病棟における栄養アプローチの検証
- 天本病院 回復期リハビリテーション科／青野知紗、小林恵夢／第18回東京都病院学会／発症後生活保護受給開始となり、生活に不安が強い症例
- 天本病院 回復期リハビリテーション科／大木俊幸／第18回東京都病院学会／卒前教育の変化とリハビリテーション部取り組み
- 天本病院 回復期リハビリテーション科／藤原秀一／第18回東京都病院学会／リハビリ意欲低下に対して、けん玉動作を行った症例
- 天本病院 リハビリテーション部 入院外来科／橋本祐汰／第18回東京都病院学会／左アキレス腱断裂後 腓骨筋群の疼痛軽減に難渋した症例～病棟内移動手段の歩行導入を目指して～
- 天本病院 診療技術科栄養係／興梠爽乃、岡本琳、中嶋利香／第18回東京都病院学会／MCTオイル添加におけるSDGsに向けた取り組み
- 消化器外科／園田寛道、田村徳康、代永和秀、箱崎智樹、中西彬人、梅谷直亨／第96回日本胃癌学会総会／高齢者胃癌に対する手術適応
- 消化器外科／長嶋信太朗、原田聰子、田村徳康、梅谷直亨／第96回日本胃癌学会総会／胃癌根治術後11年目に晚期再発をきたした1例

3月

- 脳神経外科／齋藤浩史／第53回日本脳卒中の外科学会学術集会／破裂脳動脈瘤急性期にNeuroform Atlasステントを使用したコイル塞栓術の有効性と課題
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科／吉富櫻嘉、篠原宏、清水啓成／第36回日本喉頭外科学会総会／加熱式タバコ誤用後の喉頭熱傷が疑われた一例
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科／酒井杏奈、松本翠愛、中野光花／日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東京都地方部会第242回学術講演会／Dupilumab投与後に発症した好酸球性多発血管性肉芽腫症の一例
- 河北総合病院リハビリテーション科／瀬島真理／第51回日本集中治療医学会学術集会／当院ICUにおける早期離床が図れた人工呼吸器患者のうち、死亡退院となった3症例の検討
- 救急集中治療科／竹内一貴／第3回救急救命士フォーラム／病院救急車を主体とした病院救命士の展望
- 循環器内科／片野皓介／第88回日本循環器学会学術集会／A Case of Implantable Loop Recorder Diagnosed Isolated Cardiac Sarcoidosis
- 消化器外科／境拓海、田村徳康、上村拓、中西彬人、箱崎智樹、代永和秀、梅谷直亨／第60回日本腹部救急医学会総会／術前に盲腸捻転症と診断し、腹腔鏡下回盲部切除術を行った高齢者盲腸捻転の1例
- 消化器外科／熊谷明典、園田寛道、中西彬人、箱崎智樹、代永和秀、田村徳康、梅谷直亨／第60回日本腹部救急医学会総会／超高齢者の腹壁穿通を伴う閉塞性横行結腸癌に対し、緩和的ステント留置を施行した1例
- 消化器外科／長嶋信太朗、田村徳康、中西彬人、箱崎智樹、梅谷直亨、代永和秀、園田寛道／第60回日本腹部救急医学会総会／中年女性の日常生活での右季肋部打撲が肝損傷引き起こした一例
- 消化器外科／園田寛道、松田明久、山田岳史、進士誠一、代永和秀、岩井拓磨、武田幸樹、上田康二、栗山翔、宮坂俊光、香中伸太郎、吉田寛／日本大腸肛門病会誌 77 : 148-154, 2024／肝、肺転移を併存している大腸癌腹膜播種症例における外科的切除の意義
- 耳鼻咽喉科頭頸部外科／篠原 宏、清水 啓成／口腔・咽頭科 2024;37(1):37-42／鼻咽腔電子内視鏡による食道内腔の観察法
- 耳鼻咽喉科頭頸部外科／中野 光花、高田 由香、篠原 宏、清水 啓成／口腔・咽頭科 2024;37(1):43-47／重度の口腔・咽頭粘膜びらんと骨髄異形成症候群の原因としてメトトレキサートが疑われた1例

年間イベントカレンダー

地域住民・
患者さん向け
勉強会・セミナー
・主催イベント

地域医療・介護・
その他連携

財団の出来事
(職員向けイベント含)

地域イベントへ
参加・協賛

4月

杉並事業部

- 河北健康教室「命をつなぐ心肺蘇生の方法」
- 河北健康教室「股関節痛の原因とその治療」(web配信)
- web河北健康教室 Lesson.40「自宅で簡単ウォームアップ」
- 河北健康教室「健康寿命を延ばすために！知ってする高血圧と帯状疱疹の話」(web配信)

多摩事業部

- 広報誌「あっぱれ」春号発行
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- 高齢期の備え講座(多摩市中部地域包括支援センター)

多摩事業部

- フラワーフェスティバル柚木(あい老健)

杉並事業部

- 膠原病医の考える間質性肺疾患
- 多職種連携システム杉介ネットステーション登録(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 広報誌No.98「しぐま」発行

- 2023年度 新入職員/経験者入社・研修
- 辞令交付式

杉並事業部

- オンライン診療同意書・計画書の策定(河北ファミリークリニック南阿佐谷)
- 河北家庭医療学センター全体会開催～2023年度振り返りと2024年度目標の共有～
- 河北総合病院 移転建設工事「ZEB Oriented」取得
- AI警備システム「アジラ」実証実験スタート(河北総合病院・分院)



新入職員/経験者入社・研修



フラワーフェスティバル柚木

5月

杉並事業部

- 広報誌No.184「かわびたる」発行
- 河北健康教室「体操とLINE登録教室」
- web河北健康教室 Lesson.41「歩行補助具の正しい使用方法と歩行のメリットについて」
- web河北健康教室 Lesson.42「高額医療費制度を申請しよう」



多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- オレンジガーデニングプロジェクト多摩開始(～9月まで)

杉並事業部

- 第42回杉並心臓病カンファレンス

多摩事業部

- 介護施設向けcovid感染対策webセミナー(天本病院)



オレンジガーデニングプロジェクト多摩

杉並事業部

- 訪問範囲拡大2km→3kmへ(河北ファミリークリニック南阿佐谷/河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 看護リーフレットリニューアル(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)

多摩事業部

- 多摩市まち美化キャンペーン



多摩市まち美化キャンペーン

6月

杉並事業部

- 河北健康教室「気胸について」
- 河北健康教室「夏本番前の熱中症と脱水対策」
- 河北健康教室「命をつなぐ心肺蘇生の方法」(web配信)
- web河北健康教室 Lesson.44「表情筋を鍛えよう」

多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- ボランティア説明会・交流会

杉並事業部

- 財団特別賞与 感謝状授与式
- 東京都より感謝状受領
- 感染性廃棄物最終処分場視察



河北健康教室

多摩事業部

- からきだ菖蒲館在宅医療講演会
- 稻城市在宅医療シンポジウム



稻城市在宅医療シンポジウム

7月

杉並事業部

- 広報誌No.185「かわびたる」発行
- 河北健康教室「副鼻腔炎について」

多摩事業部

- 広報誌「あっぱれ」夏号発行
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)



広報誌No.185「かわびたる」



広報誌「あっぱれ」夏号

杉並事業部

- 自衛消防訓練
- 護身術セミナー(河北家庭医療学センター)
- 出前型自転車講習会(河北家庭医療学センター)
- 厚生局および東京都による個別指導の実施(河北ファミリークリニック南阿佐谷)

多摩事業部

- 慰靈祭



河北健康教室

多摩事業部

- 多摩市健幸シンポジウム



自衛消防訓練

8月

杉並事業部

- 病院キッズ体験イベント
- 河北健康教室「いま増えている大腸がんについて」
- web河北健康教室 Lesson.44「帯状疱疹Q&A」
- web河北健康教室 Lesson.45「体幹トレーニング」

多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)



キッズ病院体験

杉並事業部

- 施設看護師・介護職対象研修会
- 第43回杉並心臓病カンファレンス
- 広報誌No.100「しぐま」発行

多摩事業部

- 社会医学技術学院より感謝状受領



社会医学技術学院より感謝状授与

杉並事業部

- みま～も杉並地域づくりセミナー「訪問診療・訪問看護とは?」(河北家庭医療学センター)

多摩事業部

- 平尾祭り



平尾祭り

9月

杉並事業部

- 広報誌No.186「かわびたる」発行
- 河北健康教室「糖尿病になると怖いこと」

多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- あたご体力測定・相談会(あいクリニック)



河北健康教室

杉並事業部

- 第18回杉並区認知症ネットワーク
- 地域で考えるCKD診療
- 杉並中野糖尿病フォーラム
- 医師・看護師・薬剤師のための在宅ケアセミナー
- 教育ST事業多職種事例検討会(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 教育ST事業褥瘡セミナー(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)



医師事務作業補助者研修修了証授与式

杉並事業部

- 医師事務作業補助者研修修了証授与式
- 厚生労働省小児科視察
- サンキューカード常設開始(河北ファミリークリニック南阿佐谷)

多摩事業部

- 事業所対抗ボッチャ大会



永山フェスティバル

10月

杉並事業部

- 河北健康教室「乳がんの最新の診断と治療」
- シーダ祭(シーダ・ウォーク)
- 河北健康教室「いま増えている大腸がんについて」(web配信)
- web河北健康教室 Lesson.46「無理なくできるコグニサイズ」
- web河北健康教室 Lesson.47「脳トレーニング」



多摩事業部

- 広報誌「あっぱれ」秋発行
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- 第23回市民公開講座

杉並事業部

- 病診連携会
- 第10回杉並産婦人科カンファレンス
- 循環器代謝セミナーin杉並
- 阿佐谷痛みのセミナー
- 教育ST事業多職種事例検討会(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 広報誌No.101「しぐま」発行



河北健康教室

多摩事業部

- 下期全体朝礼・永年勤続表彰
- あい看護小規模多機能施設おきなオープン

多摩事業部

- からきだ菖蒲館まつり(あいクリニック中沢ほか)
- 多摩消防署自衛消防操法大会



第23回市民公開講座

11月

杉並事業部

- 第15回 地域の人と考える「around杉並健康ライフ2023」
- 杉並区立宮前中学校 職場体験(河北総合病院 薬剤科)
- ファミクリ文化祭(河北ファミリークリニック 南阿佐谷)
- 広報誌No.187「かわびたる」発行

多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- あい介護老人保健施設秋祭り



杉並事業部

- 杉並CKD診療を学ぶ会
- 第3回膠原病リウマチセミナー
- 教育ST事業褥瘡セミナー(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 教育ST事業多職種事例検討会(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 外国人の模擬患者とのロールプレイで学ぶ 医療関係者のための「やさしい日本語」研修(河北ファミリークリニック南阿佐谷)



杉並事業部

- タイ・マヒドン大学から実習生受け入れ(河北総合病院 薬剤科)

多摩事業部

- 事例・研究発表大会
- 福利厚生よみうりランド

杉並事業部

- すぎなみフェスタ2023

多摩事業部

- たまし健康フェスタ
- 稻城市在宅医療講演会(あいクリニック平尾)
- 多摩市老人クラブ連合会体力測定会



12月

杉並事業部

- 河北健康教室「じんそうを守ろう」
- web河北健康教室 Lesson.48「脱!メタボ 体操!筋力をつけましょう」
- クリスマス会(河北リハビリテーション病院)

多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- ボランティア説明会・交流会
- 各事業所でクリスマスイベント

杉並事業部

- 第44回杉並心臓病カンファレンス
- 留置前健診受入スタート(河北ファミリークリニック南阿佐谷)
- 広報誌No.102「しぐま」発行

杉並事業部

- フットケアマシン購入に伴うフットケアマシン勉強会(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 教育ST事業多職種事例検討会(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 納会

多摩事業部

- 福利厚生よみうりランド



杉並事業部

- 「日本フィル冬休みオーケストラ探検 みる・きく・さわるオーケストラ!」協賛
- 杉並第一小学校「命の授業 赤ちゃんの誕生を学ぼう」

多摩事業部

- 多摩市社会福祉協議会赤い羽根募金付き菓子購入
- 多摩市社会福祉協議会フードドライブ(食料配布支援)



1月

杉並事業部

- 獅子舞・福笑い(河北リハビリテーション病院)
- 広報誌No.188「かわびたる」発行
- 河北健康教室「心臓病のお話」

多摩事業部

- 広報誌「あっぱれ」新春号発行
- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)



河北健康教室

杉並事業部

- 脳心血管病連携会
- 災害医療活動「令和6年能登半島地震」

杉並事業部

- 仕事始めの式
- 神明宮参拝

多摩事業部

- タイ・マヒドン大学視察団受け入れ

杉並事業部

- 杉並第一小学校「命の授業 生まれることの素晴らしさ」



タイ・マヒドン大学視察団受け入れ



杉並第一小学校「命の授業」

2月

杉並事業部

- 河北健康教室「かかりつけ医をもとう」
- web河北健康教室 Lesson.49「フレイル」
- web河北健康教室 Lesson.50「椅子に座ったままできるストレッチ」

多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- ACP講座「人生の最期を幸せに迎えるためには準備しておきたいこと」(あいクリニック平尾ほか)



認知症カフェ

杉並事業部

- 不整脈 Web Seminar
- 教育ST事業多職種セミナー(河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷)
- 広報誌No.103「しぐま」発行

杉並事業部

- 東京都病院学会

河北健康教室

杉並事業部

- 杉並第一小学校「命の授業 死を考える」
- 杉並第一小学校「命の授業 ～からだの障がいを阿佐谷から考えよう～」
- 杉並保健所主催「健康で豊かな人生を歩み続けるために～『予防』の力を活かそう～(河北ファミリークリニック南阿佐谷)

杉並第一小学校「命の授業」

杉並第一小学校「命の授業」

3月

杉並事業部

- 広報誌No.189「かわびたる」発行
- 河北健康教室「尿失禁・頻尿セミナー」
- 河北健康教室「心臓病のお話」(web配信)
- ファミクリ文化祭15・16日(河北ファミリークリニック南阿佐谷)

多摩事業部

- からきだ匠カフェ(認知症カフェ)
- 第1回ASNカップポッチャ大会

河北健康教室

杉並事業部

- 河北総合病院・分院、河北サテライト クリニック総合防災訓練
- 臨床研修2023年度修了発表会・修了証書授与式
- 院長交代式

杉並事業部

- 杉並区歯科医師会協力講演会
- 第6回アブレーション連携の会
- 心腎連関から診る高血圧診療

ポッチャ大会

院長交代式

総合防災訓練

50



社会医療法人 河北医療財団

<https://kawakita.or.jp>

〒166-8588
東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
TEL:03-3339-2121(代)



Facebook



Instagram



YouTube



LINE